



市勢要覧
2016

住みよい
大町
住みたい

OMACHI OUTLINE 2016

あなたはどんなまちに すみたいですか。

誰もが住みたいまち

それは住み慣れた地域で、誰もがゆったりと安心して暮らせるまち
お互いを支え合ったり、励まし合ったりできるまち
そして年齢を重ねても、どんな仕事をしていても、
いつもそこには、笑顔があり、暮らしやすい環境があるまち
日々の暮らしの快適性や利便性を毎日考えてくれるまち
未来に向けて、子どもたちや若者たちの、健やかな成長を願えるまち

そして「だいすき!」と呼べるまちであること
それが私たちの「おおまち」



笑顔で
おもてなし

地元で
安心安全

豊作
です!

Omachi
wonderful city ♪



おおまちで 暮らす

住み慣れたまちだからこそ
みんなで支えあったり
思いやりも生まれます。
そんな温かなまちで
これからも暮らせることが
私たちの願いです。

いつも安心

みんなの笑顔が大町原風景
だから誰もが安心して
安全に暮らせます。
私たちはそんな笑顔の
まちづくりをめざしています。

輝く人たち

誰もが子育てや介護、家事などを、
仕事と両立させながら暮らせるまち。
それは毎日を輝きを持って働けること。
そんなライフスタイルを、
市民、企業と協働で創ります。



カクネ里雪渓、 氷河の可能性高まる

鹿島槍ヶ岳の大明市側斜面にあるカクネ里雪渓について、平成28年1月28日、学術調査団が氷河の可能性が高いと発表しました。氷河の定義は厚い氷体を持ちその氷体が流動していること。同調査団は平成27年9月～10月にかけて氷体の流動観測を行い、24日間で12～17cmの動きがあることを観測しました。

この観測結果を日本雪氷学会誌や国際学術誌などへ学術論文として提出し学術的に認められれば、全国で4つ目、長野県では初の氷河となります。

発刊にあたって

大町市長 **牛越 徹**



私たちのまち大町市は、北アルプスの雄大な山々や仁科三湖に抱かれた山紫水明の美しいまちです。

この自然の恵みを後世に引き継ぎ、少子高齢社会の進展や景気・雇用情勢の停滞、価値観の多様化など社会情勢の変化や地方分権社会に向け、自主的・個性的なまちづくりが求められています。

大町市では、「定住の促進」、「働く場の確保と産業振興」、「安心して安全に暮らすことができるまち」、「市民生活と産業の基盤整備」、そして「市民の文化・芸術とスポーツの振興」の5つを重点プロジェクトとして位置付け、着実な成果に結びつけるため関連する施策や事業を、総合的かつ横断的に取り組むこととしております。

市の豊かな自然、歴史・文化、産業など地域の特性をいかし市の将来像の「きらり輝くおおまち」の実現を目指し、市民の皆さまと事業者、行政が一体となった協働により施策を進めてまいりますので、市政へのご理解とご協力をお願い申し上げます。

この市勢要覧を通じて、きらり輝く大町市の良さを再発見していただければ幸いです。

平成28年3月

住みたい 住みよい

市勢要覧
2016

大町 OMACHI OUTLINE 2016 もくじ

発刊にあたって	大町市長 牛越 徹	3
市長インタビュー		4

おおまちで暮らす

1. 住みやすい住宅環境づくり～快適おおまちライフ～	8
2. 子育て支援～児童福祉の充実～	10
3. 学習環境～豊かな学び～	14
4. 生涯学習～生きがいある人生を～	16
5. 自然環境～自然との共生～	18
6. 市民参加と協働のまちづくり～絆が結ぶ輪～	20
7. アクセス～地域の安心・安全をつなぐ～	22
8. 情報～地域を知る～	24
9. 芸術・文化～地域の魅力を世界へ発信～	25

いつも安心

1. 健康と福祉～健康に暮らす～	26
2. まちを守る～住民の団結～	30

輝く人たち～輝くひとが輝くまち～

1. ビジネス環境～地域の活性を図る～	32
2. おもてなしの心～市民活動～	36
3. まちづくり団体～さらなる活動の広がりを目指して～	38
四・季・彩・祭	40
友好・姉妹都市交流	48
議会	50

大町市制 60 年のあゆみ	51
主な公共施設	59
統計資料に見る大町市	63

【巻末付録】 指定緊急避難場所・指定避難所一覧

大町に 住む

大町市長 牛越 徹氏

INTERVIEW

平成26年、市制施行60周年・合併10年を迎えた大町市。
市民が心豊かに、安心して暮らせる住みよいまちにするため、
全力で市政に取り組む牛越徹市長に、
これからの大町市の展望について伺いました。

平成28年度で丸10年となる「第4次総合計画」の成果
について、市長の見解をお聞かせください。

➤ れまで9年間にわたって『市民参加と協働のまちづくり』の理念のもと市政を進めてまいりました。市民の皆様にもご理解いただき、徐々に定着し、目に見える動きになってきたと感じております。また平成22年に「市民活動サポートセンター」を設置しました。ここでは市民活動や地域の自治会をバックアップし、市民の皆様にも活発に利用していただいております。その結果、多様な分野で

市民活動や地域づくりが展開されるようになり、「きらり輝くおおまち」という未来像を、市民の皆様と市政が共有できるようになってきたと実感しています。

市民に開かれた市政を実現するために、
どんなことに取り組んできましたか？

地域懇談会や行政懇談会を計111回開催しました。
地域懇談会は自治会での意見交換会、行政懇談会は市内で様々な活動をしているグループや団体との意見交換会です。各地域へ私がお伺いし、直接意見を聴かせ

住みよい大町 住みたい大町 5つの重点施策

① 定住の促進

- ・人口減少を食い止め、市民が心豊かに暮らせるふるさと大町を実現します。
- ・マイホーム取得助成、子育て応援商品券、新婚応援商品券、市外通勤助成などの定住奨励策を拡充し、市内への定住を促進します。

- ・市のさまざまな魅力を生かしてUターン・Iターン奨励策を強化し、移住人口を増加させます。
- ・未来を託す子どもたちの健やかな成長を応援するため、保育環境の整備や子ども医療費無料化など、子育て支援策を拡充し「出産・子育て日本一」を目指します。

② 働く場の確保と産業振興

- ・地域資源を生かした産業の立地を進め、新たな企業を誘致するとともに、若い皆さんの働く場を確保します。
- ・商工業や農林水産業の活性化と6次産業化を進めます。
- ・地域の観光資源を生かした滞在型の観光地を目指し、観光素材の掘り起こしと磨き上げを進めます。

- ・北アルプス農畜産物のブランド化を推進します。
- ・新たな起業、創業への支援を強化します。
- ・市民参加と協働の力でにぎわいがある商店街を再生します。
- ・集落や担い手の力で農業と農村を守ります。

③ 安心して安全に暮らすことができるまち

- ・市民の命を守る防災対策をいっそう進めます。
- ・高齢者や障がいのある皆さんが、地域社会の一員として健やかに暮らせるよう、福祉、介護、医療の充実に取り組めます。

- ・脳卒中などの成人病や生活習慣病対策等により、市民の健康づくりを積極的に進めます。
- ・地域医療の拠点、大町総合病院の経営健全化に向けた支援を強化します。

④ 市民生活と産業の基盤整備

- ・地域産業や市民生活の基盤となる「松本糸魚川連絡道路」の一日も早い着工を促進します。
- ・広域一般廃棄物処理施設の建設を推進します。

- ・地域の景観の維持向上を図るとともに、危険な廃屋対策を進めます。
- ・自然エネルギーを生かし、先端的な環境都市の創造を目指します。

⑤ 市民の文化・芸術とスポーツの振興

- ・山岳文化を振興するとともに、ライチョウ飼育の再開など山岳博物館の整備拡充を進めます。
- ・市民の文化・芸術とスポーツの振興により、地域の元気を再生します。

- ・男女共同参画社会・人権尊重のまちづくりを進めるとともに、生涯学習の充実を図ります。

ていただきました。また「市長への手紙」として、市民の皆様から手紙やメールをいただいております。これも9年目となりますが、総数で1,042通のご意見をいただきました。いただいたすべての手紙・メールに目を通し、建設的なご提案等は市政に反映させるように努めています。そうすることによって、市民が率直に意見を言える、風通しが良い市政につながってきているのではないかと考えています。

『住みよい大町 住みたい大町5つの重点施策』

についてお聞かせください。

まず、「定住の促進」ではどんな成果がありましたか？

最も大切なことは、市民の皆様は“これからも安心して住み続けていただく、”ということです。次に、そうした市民の皆様は“きりり輝く姿、”を見て、多くの方が大町に魅力を感じ、UターンやIターンで移り住んでいただきたいと考えています。そのひとつとして、私が本部長となって進めている「定住促進本部」があげられます。市民と協力して、大町の魅力を積極的にアピールし、大町への移住を提案する活動を進めています。また「移住相談窓口」を設置し、大都市圏で移住セミナーや説明会、移住相談なども実施しています。その結果、たくさんの相談をいただいております。実際に58世帯の方が大町に移住しているんです。

また出生数も、平成25年が年間148人だったのに対し、26年は187人で+39人でした。移住の効果も大きいのですが、子育て支援が充実してきた成果とも考えられます。出産祝い金は第1子が5万円、第2子が8万円、第3子以降は10万円を支給しています。また、3歳になる幼児、小学校に入学する児童にきりり商品券を差し上げお祝いしています。

少子化といわれている中で

出生数が増加しているという事実は素晴らしいですね。

そうですね。転入転出による減少はありますが、人口減少にはブレーキがかかってきたといえるのではと考えています。子育て支援をはじめ、様々な支援の充実を図り、移住された方にも暮らしやすいまちづくりを目指しています。そのひとつとして、家を新築したり購入する際に最高で34万円までの助成金を贈っています。そうした取り組みから「ここに住みたい」「移り住みたい」という意識につながっているのではないかと思います。

第4次総合計画の成果

その1.「きりり輝く協働のまちづくり事業」助成金事業

平成19～26年の8年間累計で、延べ394団体、交付金額合計1億1,900万円。

その2. 財政の健全化(1)

大町市の地方債残高217億円を141億円に減額。76億円の圧縮に成功!!

その3. 財政の健全化(2)

実質公債費比率21.3%を26年度の決算で8.4%に改善。

その4. 財政の健全化(3)

市役所の職員数削減の取り組みを実施。391名から345名に。

その5. 市長への手紙

この9年で手紙が633通。メールが409通。あわせて1,042通。

その6. 移住相談窓口の相談者数

相談件数延べ1,299件。そこから移住につながったのは58世帯。





次に「働く場の確保と産業振興」についてお聞かせください。

まずひとつは、大町の清らかな水を使った飲料水を製造する飲料水工場を2社誘致しました。東洋紡の跡地は商業施設の建設が決まり、平成28年の春にオープンします。また新たな6次産業の成果として、大北地域初のワイナリーが誕生しました。

観光面は「山岳高原を活かした世界水準の観光地づくり」の取り組みも進めており、外国からの観光客増加という成果が出ています。アルペンルートを例にとりますと、24年は100万人のうち13万人が海外のお客様だったのが、26年は22万人に増加しました。今後はさらに増えるだろうと予測しています。

3つ目の「安心して安全に暮らすことができるまち」についてお聞かせください。

ちょうど5ヵ年計画をスタートした年に東日本大震災が起こったので「災害に強い地域づくり」ということをテーマに掲げ、ハード面の強化だけでなく、暮らしやすい環境づくりにも積極的に取り組んでいます。また、子育て支援の一環でもありますが、医療費助成の範囲を拡大し、現在は中学校卒業まで、掛かる医療費の助成を行っています。これは市民の皆様のために、さらに充実していかなければいけない分野だと考えております。ま

た、医療については市立大町総合病院の医師確保が大きなテーマとなっておりますが、県や信州大学より大きな応援をいただき、平成16年から医師が不在だった脳神経外科に、新たに先生に来ていただき、平成26年秋に再開することができました。また、産科についても、常勤の先生2人、非常勤の先生2人に来ていただき、安心して出産できる体制が整いました。

もうひとつの取り組みとして、自然エネルギーなど環境対策の充実にも力を入れています。まずひとつに、市内を流れる農業用水路を活用し、水力発電をスタートしています。また、太陽光発電では、市役所、市立図書館、小・中学校などの屋上に設置し太陽光エネルギーを活用するほか、市民の皆様の住宅に設置する場合は市から助成金を支給しています。ほかにも、温泉熱からエネルギーを確保したり、温度差を利用しエネルギーを生み出すといった研究なども進めております。

そして、安心して安全に暮らすことができるまちづくりに欠かせない、雪に負けない地域づくりという面では、どこの地域にも負けない、万全な除雪体制で臨んでおります。

4つ目の「市民生活と産業の基盤整備」に関してはいかがでしょうか？

市民生活を守り、産業活動を守る基盤の整備として、新しい一般廃棄物処理施設の建設を進めています。最新の環境技術を駆使し、周辺の自然環境や生活環境に影響が出ないように配慮したごみ処理施設が、平成30年に完成する予定です。環境学習の場にもなり、大勢の方に見学に来てもらえるような施設にしていきたいと考えています。

もうひとつは松本糸魚川連絡道路です。市民の皆様も待ち望んでいる新たな地域高規格道路ですが、平成28年1月に大町から南のルート案が発表されました。日本海までしっかりした道路網が整備されれば、日本海沿岸の広い範囲で災害が起こっても速やかに救援に行くことができるなど、大災害の際には相互の救援のための重要な道路となるとともに、命を救う救命救急の道路となるでしょう。

5つ目の「市民の文化・芸術とスポーツの振興」についてお聞かせください。

スポーツに関しては、大町市はスポーツ施設が充実していますので、スポーツ人口も多く、市民の皆様が多様な分野で熱心に取り組んでいます。また、オリンピック候補選手と期待される選手がたくさん育っており、将来を担う子どもたちの競技力が向上しているのも

大変うれしいことです。市でも、これからも市民のスポーツ活動を応援してまいります。その一環として、冬のスポーツ環境を充実させるため、現在1棟の屋内運動場を、もう1棟建設することを決めました。また、サッカーチーム「松本山雅FC」のホームタウンになったこと。東日本大震災被災地の復興支援と女子サッカーの振興を目的とした「おおまびょんカップ女子サッカー大会」も平成27年で5年目を迎えました。スポーツに親しむ様々な機会を積極的に提供することで、市民の皆様の健康づくりを応援していきたいと思っております。また全国から多くの選手の皆様にお越しいただくことにより、観光振興にも寄与できますよう努めてまいります。

文化・芸術の分野でも市民活動が盛んに行われており、「きらり輝く協働のまちづくり事業」の助成金も、最近では文化や芸術を軸にした地域づくりの活動に対しての支援が多くなってきています。文化や芸術は、非常に価値のある情報として全国に発信できますので、大町の魅力を文化・芸術の情報にのせて、広くアピールしていくこととし、平成26年には「食とアートの回廊」が開催されました。この芸術祭はこの地域のおいしい水、おいしい水から作られたおいしい食材、そして現代アートを融合させたイベントです。これは3年に一度開催していくイベントとして、今後も発展させていきたいと考えており、29年には国際芸術祭を実施できるように準備を進めています。文化・芸術を振興することによって、地

域が元気になります。多くの観光客が訪れ、大町で消費していただく。市民の皆様には大勢の観光客を真心で受け入れていただく。そのような形で地域振興につなげていきたいと考えております。市としても一生懸命取り組んでまいりますので、市民の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

最後に市長が思う理想の大町とは どのようなまちかをお聞かせください。

➤ の地域が“きらり輝く大町、としてもっともっと”
↳ 大勢の皆さんに評価される地域になりたいと思っております。それにはまず市民の皆様に地域の良さを再認識していただきたいですね。よく市外の方には「大町は資源がたくさんあり、素晴らしいところもいっぱいあるね」と言っていたのですが、住んでいる私たちはその良さになかなか気が付かない。この素晴らしい自然景観にも慣れっこになり、おいしい水も当たり前と感じている。大町の良さに改めて気が付いて、その気付きの中からさらに磨きあげていく取り組みを、市民の皆様と一緒に行っていきたいと思っております。またその中で市民の皆様の“きらり輝く姿”、“絆で結ばれた地域の素晴らしさ”を市外や県外の皆さんにも知っていただき、観光で訪れたり、移住に結び付けばありがたいと思っています。

■牛越市長のプライベートについて聞きました！

プライベートの場でも「あ、市長！」と子どもから気軽に声をかけられる牛越市長。親しみやすい人柄ゆえ多くの市民に支持される牛越市長のプライベートを直撃しました！

Q1. 市長の好きなスポットはどこですか？

A1. 好きなスポットはなんといっても山ですね。北アルプスが一番よく見える鷹狩山が好きで、最近も妻とペットの犬と一緒に行きました。鷹狩山の展望公園はアルプスの絶景が望め、眼下に市街地が広がっています。数あるアルプスの展望台の中で一番のビューポイントだと思います。針ノ木岳と鹿島槍ヶ岳も大好きです。扇沢から針ノ木大雪渓を踏みしめながら登っていくプロセスがすごくいいんですよ。歌人でもある百瀬慎太郎さんが開いたルートで、高校時代から何度も登っている大好きな山です。

Q2. 大町で好きなところはどこですか？

A2. 大町の魅力は山、水、花、そして人だと思っています。高瀬川や昔からの田園風景が残った里山など、好きなところはたくさんあります。本音を言うと、一番好きなのは自宅の自分のベッドです（笑）。若い頃から夜中まで仕事をしてきたものですから、今日も布団で眠れるという喜びをかみしめ、眠る前のほんのひとときの読書が一番の楽しみなんです。



住みたいまちがここにある

住みやすい

住宅環境づくり～快適おおまちライフ～



大町市はこれまで、道路や公共施設などの社会資本の整備をはじめ、子育てや教育環境、医療・福祉の充実など、住みやすい環境づくりを目指してさまざまな取り組みを進めてきました。大町市に住んでいる市民の皆

Creating a residential environment for easy living

So far, Omachi City has taken numerous measures in order to create an easy-to-live environment, including maintaining social capital such as highways and public facilities, and improving childcare, educational development, health care, and social welfare. We aim to make Omachi a

さんが「大町市に住んでよかった」と思える暮らしやすいまちに。そして市外に住んでいる人が「おおまちで暮らしたい」と思えるまちに。定住の地におおまちが選ばれるように住みやすい環境づくりに努めてまいります。

city where everyone that lives here can be glad they made it their home, and those who do not live in it want to move here. We endeavor to create an environment for easy living that we hope more people choose to make their permanent residence.



平成 27 年 12 月に兵庫県から大町市に移住した高橋さんファミリー。

「中古の一軒家を購入、『住宅リフォーム助成』を利用し、家をリフォームしました。移住や助成金に関してなど、市の担当の方が親切に教えてくれたのでとても助かりました。大町市は、行動範囲内にすべてそろっているので、便利で住みやすいです。そして何より住民のみなさんがとても温かいところが気に入っています」

ずっと住み続けたいまちに

大町定住促進プロジェクト

大町市の人口は昭和 35 年の 41,184 人をピークに減少が続いています。人口減に歯止めをかけ、総合計画目標人口 3 万人に近づくため「大町定住促進プロジェクト」を立ち上げました。①住宅環境の向上 ②働く場の確保 ③暮らしやすさの充実 ④情報発信強化・地域間交流促進、以上 4 つの施策を推進していきます。中でも生活するための基盤になる住宅環境の向上には、マイホームを建てた人に助成金が出る「マイホーム取得助成」や「住宅リフォーム助成」、「勤労者住宅建設資金融資利子補給」など、うれしい制度が充実しているのも魅力です。

住みつづけたいまち 市民に優遇される施策例

1. マイホーム取得助成

市内に住宅を新築または購入した場合、一定の条件を満たす人を対象に助成します。

2. 住宅リフォーム助成

住宅の性能や機能が向上するリフォームを行う場合にその経費の一部を助成します。

3. 勤労者住宅建設資金融資利子補給

市内に住宅を建設するため、資金の融資を受けた勤労者に対し利子補給を行います。

子どもからおとなまでみんな笑顔になる場所

市民の憩いの場、緑豊かな公園

豊かな自然に恵まれた大町市。市内には大小さまざまな公園がそろうています。公園は、市民の憩いの場や交流の場としてだけでなく、大町を訪れる人々に安らぎを与えるほか、地球温暖化防止や災害時の防災機能などを担う重要な施設です。

子どもたちはもちろん、市民みんなが安心して集えるように、計画的に整備を進めていくとともに、市民との協働による公園美化活動を推進します。



子どもたちが豊かな水資源を体感できるようにと、平成26年に市民待望の親水設備が整備された西公園

そのほかにも住みやすいまちづくりのために さまざまな対策を行っています!

その1

いつもキレイな大町市

ゴミ対策

“輝くおおまち、に近づくためには、限られた資源を有効に活用するとともに、ごみによる環境への負荷を低減させることが大切です。大町市では、市民一人ひとりがゴミの分別に努めているため、資源物のリサイクル率が高く、市民の環境に対する意識の高さがうかがわれます。また平成30年には豊かな自然に配慮した、安全でクリーンなゴミ処理施設が完成します。



その2

大雪でも大丈夫!

除雪対策

市民が安心して暮らせるよう、冬期の生活道路確保に努め、さまざまな種類の除雪機械による除雪作業や、凍結防止剤散布による凍結対策を行うなど、大雪時にも対応できるよう体制を整えています。



また、生活道路の計画的な整備のほか、歩道の設置など交通安全対策の推進も行っています。

その3

おおまちの宝! おいしい水

豊かな水源

国内有数の水源地帯である大町市。北アルプスから湧き出る豊富な湧水を源とする市の水道水が、とてもおいしいことも自慢のひとつです。

市街地には「創舎わちがい」の中庭に『男清水』と呼ばれる北アルプス上白沢の湧き水と、その向かいにある「塩入家具」の前に『女清水』と呼ばれる東山居谷里の湧き水の2種類が飲める水飲み場があります。また「塩の道ちようじや」など、全部で9カ所に水飲み場が設けられています。



東西に分かれた水流で、西側は男の子の赤ちゃんばかりが産まれるので「男清水」、東側は女の子ばかりなので「女清水」と名付けられたという伝説が残っています

きらり輝くおおまちっ子

子育て支援～児童福祉の充実～



子どもたちは未来を担う宝物。大町市では子どもたちや子育て家庭を応援、子育て支援に力を入れています。児童センター、子育て支援センター、児童クラブなどの充実、出産祝い金やお子さん3歳になったときと小学校へ入

Childcare support

Children are the treasures that carry the weight of the future on their shoulders. Omachi City assists children and their families and works to provide support for childcare. The city works together to watch over its growing children, protect children's rights, and prevent abuse. This includes improving children's centers, childcare assistance centers and

学したときに市内で利用できる商品券のプレゼント、ひとり親家庭のサポート支援、発達障がい児への継続的支援、また子どもの権利擁護と虐待の防止を図るため、市民が一体となって子どもたちの成長を見守っています。

children's clubs, gifting money in celebration of a child's birth, giving away gift certificates that can be used within the city when a child has turned three or entered elementary school, offering assistance to single parents, and offering continued assistance for children with developmental disabilities.



小学生たちが学校帰りに利用する児童クラブ

いつでも遊びにいらっしゃい!

児童センターの充実

児童センターは幼児から小学生までの子どもたちが、自由に遊ぶことができる施設です。年齢の異なる子どもたちが一緒になって遊ぶことにより、相手の体力や性格などを理解し、思いやりの心が生まれます。また小学校の児童を対象に、就労や疾病などの理由により下校後帰宅しても保護者や同居者がいない場合、児童を保護し、健全育成指導を行う「学童保育」も行っています。



プレイルーム

施設内には、学習室や図書館、運動ができるプレイルームなどがそろうます



児童センターまつり



児童センターまつりを開催。たくさんの子どもたちが集い、大いににぎわいました



グラウンド

寒い日でも子どもたちは外で元気に遊びます

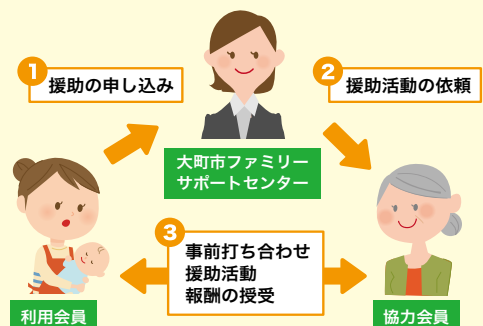
利用したい!ファミリーサポートセンター

仕事と子育ての両立を応援します

ファミリーサポートセンターとは、子育ての援助を行いたい人と受ける人が会員になり、センター事務局が橋渡し役として、会員同士が子どもの世話を一時的に有償で援助しあう組織です。

学校行事や冠婚葬祭など突発的な事由はもちろん、「急な仕事ですぐに帰れないので、小学校が終わってから1時間ほど子どもを預かってもらいたい」「保護者が急病で子どもを保育園に連れて行けないため、その日の送迎だけお願いしたい」「歯医者や美容院などちょっと子どもを預かってほしい」など、さまざまなケースで利用できます。

ファミリーサポートセンターの仕組み





子育ての悩み、ひとりで抱え込まないで！

家庭児童相談窓口

市民がいつでも気軽に育児の悩みを相談できるよう、市子育て支援課では「家庭児童相談窓口」を設置し、子育てに関する悩みや相談に常時対応しています。子育てのプロたちがあらゆる角度から相談にのってくれるので、身近に頼れる人がいない人にとっては心強い味方になってくれるはず。子どもに関すること、夫婦間のことなど、どんな相談でもOK。気軽にご相談ください。



相談員の皆さん

Q&A 相談員さんに聞きました！

女性相談員
山下さん



Q. 赤ちゃんがおっぱいを飲んでくれません。

A. 子育てはマニュアル通りにいかないもの。赤ちゃんだって一人ひとり個性があるんですよ。ささいなことでも発育に関しての心配事などがあったら気軽に相談してください。お孫さんに関することを、おばあちゃんおじいちゃんが相談してくださってもOKです。

Q. 子育てに関する悩みを共有するママ友が欲しいです。どうしたらできますか？

A. ママ同士が気軽に出会える機会や場所を作っていますので、気兼ねなくどんどん利用してみてください。悩みや相談など、どんなことでもいいので「家庭児童相談窓口」に相談してくださいね。また「こんにちは赤ちゃん事業」と題して、民生委員さんが赤ちゃん誕生のお祝いを持って、新生児家庭を訪問しています。育児に関して何か気がかりなことがある方は気軽にお声がけください。



自然のなかでのびのびと

体験学習に力を注ぐ保育園

大町市は子どもたちが自然の中でのびのび元気いっぱい過ごせる保育環境が充実しています。食育にも積極的で、園児たちが自ら畑を耕し、作物を育てるという体験学習に力を注いでいます。

毎年秋にはサツマイモを収穫したり、大きなかぼちゃを収穫したり、また園長先生と一緒に楽しみながら農作物を育て、味わうことで命の循環、普段食べている食べ物へのありがたみを学びます。

みて！みて！
大きいの見つけたよ！



年長さんの
発表会

ここに
通わせて
大正解
です！



パパマン、おじいちゃん、
おばあちゃん。ほく、
上手にできましたよ。

2歳から保育園へ通っています。先生方が子ども一人ひとりを熱心に見てくださるので安心です。子どもも保育園へ行くのを毎日とても楽しみにしています

親子の友だちづくりを応援します！

親子教室

市内の各公民館では、親子教室を実施しています。集団での遊びや学び、体験などを通して、親子のふれあいやお母さん同士、お子さん同士の友だちづくりを応援します。活動内容は、体操や手遊び、季節に合わせた行事のほか、近くにある保育園との交流も行っています。また、保育資格のある指導員や民生児童委員などがスタッフとして参加しているので、育児の悩みなどを気軽に相談できる環境が整っています。



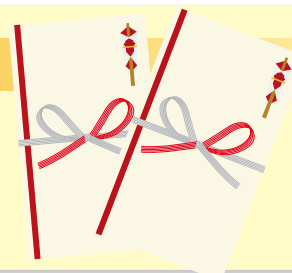
この日は保育園の「お店屋さんごっこ」にお邪魔し、園児のお店さんでお買い物を楽しみました

5月～3月の間、年間約16回開催。親子の息抜きにもなるほか、入園前に集団行動にならすよい機会と喜ばれています



子育て家庭にうれしいお祝い金 & 商品券のプレゼント

子育てで支援に力を注いでいる大町市では、子育てで支援の一環として、第1子誕生時に5万円、第2子誕生時に8万円、第3子以上には10万円が出産お祝い金として支給されます。また、お子さんが3歳になったときと小学校へ入学したときに、市内の協賛店で利用できる3万円分の商品券がお祝いとして贈られます。



中央保健センター

妊娠がわかったらまずは保健センターへ！

中央保健センター

大町市では母子の健康を多方面でサポートしています。妊娠がわかったら中央保健センターで「妊娠届」を提出し、「母子手帳」と「妊婦一般健康診査受診票（妊娠期間中14回費用助成）」「妊婦歯科検診受診券」を交付してもらいましょう。中央保健センターでは、妊娠期には妊婦一般健康診査、妊婦歯科検診、両親学級。赤ちゃんが生まれたら、新生児訪問、乳幼児健診・相談、離乳食教室など、お子さんの健やかな成長や育児のお手伝いをするための事業を行っています。

乳幼児健診

月齢にあわせた健診を実施



4ヵ月健診では赤ちゃんの発達のしくみ、離乳食のはじめ方などを学びます

子育ての応援をいたします。お気軽にご相談ください！

乳幼児健診は、お子さんが2ヵ月、4ヵ月、10ヵ月、1歳6ヵ月、2歳、3歳児を対象に行っています



すくすく
元気に育ってまちゅ♪

動きが活発になる7ヵ月児を対象に離乳食の進め方などを学ぶ離乳食教室も行います



中央保健センタースタッフ
(保健師9人、栄養士3人常駐しています)

きらり輝くおおまちっ子

学習環境～豊かな学び～



大町市には5つの小学校（大町東小・大町西小・大町南小・大町北小・八坂小）と、3つの中学校（第一中・仁科台中・八坂中）と、小中一貫教育校（美麻小中）、そして大町岳陽高等学校があります。この内3校はコミュニティスクール（美麻小中学校・八坂小学校・八坂

中学校）です。恵まれた自然のもと、豊かな心と健やかな体を持った子どもに育つよう、学校等の教育環境を整備し、家庭、学校、地域、行政が一体となって教育に積極的に関わるよう努めています。

※他の小中学校でもコミュニティスクール化を進めています。

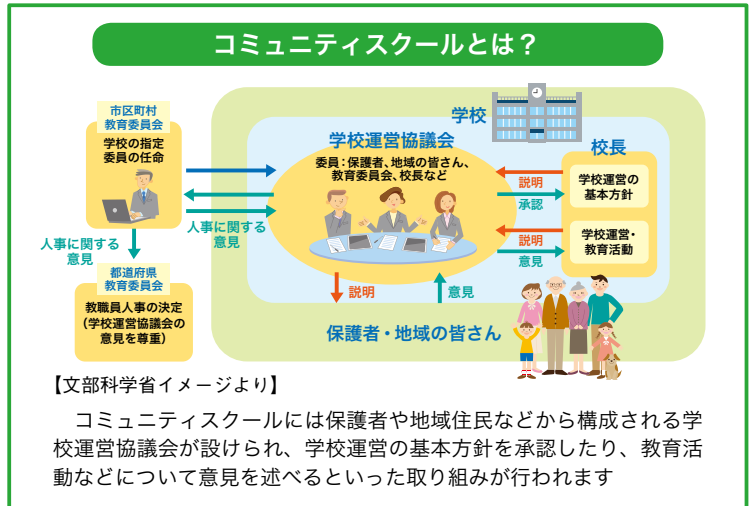
Learning environment

Omachi City has five elementary schools (Omachi Higashi Elementary School, Omachi Nishi Elementary School, Omachi Minami Elementary School, Omachi Kita Elementary School, Yasaka Elementary School), three junior high schools (Daiichi Junior High School, Nishinada Junior High School, Yasaka Junior High School), an integrated compulsory school for both grades (Miasa Elementary and Junior High School) and

Omachi Gakuyou High School. Three of these schools are community schools (Miasa Elementary and Junior High School, Yasaka Elementary School, Yasaka Junior High School). Families, schools, the region, and administration maintain these educational environments and work together to be active in the children's education so that they can be brought up with a rich soul and healthy body amidst natural surroundings.



住民が積極的に子どもたちと関わることで、子どもたちを守り、地域を守ることにつながります。学校と住民の協働による地域に開かれた学校づくりを目指します



人生の大先輩から伝統を学びます

八坂小学校では、授業の一環で、地域の方から、正月飾りの「おやす」づくりや「灰ころがしのおやき」づくりなどを学んでいます。地域の方が指導し、子どもたちが体験・修得することで、地域と子どもたちの交流やつながりが生まれています。

干し柿づくり



おやすづくり

大町東小学校



5・6年生で「お世話になっている人たちに感謝の気持ちと自分たちの元気を届けたい」と行っている「絆コンサート」

仁科台中学校



3年間取り組む「地域」をキーワードにした学習の中で、大町市を訪れた東京都武蔵野市立第五中学校の1年生を案内しました



生徒と地域の人たちが一緒になって花壇づくりを行いました

子どもとおとなが一緒に協働

—— 小中一貫教育校、小規模特認校

美麻小中学校は、平成26年度からコミュニティスクールを基本とした小中一貫教育校として、義務教育9年間を一貫したカリキュラムで、協働的な学びを進めています。また、八坂小学校と八坂中学校は平成27年度から小中連携を基本としたコミュニティスクールとしてスタート。美麻小中学校と同様に協働的な学びを進めています。これら3校は、学校、保護者、地域が一体となって運営を行い、多くのボランティアが地域の学校を支えており、平成27年度からは通学区域を定めない小規模特認校として、旧市内からの児童・生徒が通学し、地域の子どもたちと一緒に学習やスポーツ等に取り組んでいます。※3校には都会からの山村留学生が在籍しています。



大町西小学校



大町西小学校には立派な桜並木があり、みんなで手入れをし大事に育てています。毎年春には桜並木の下でお花見給食を行っています

第一中学校



第一中学校では「総合的学習の時間」の授業の一環として、生徒が一体となって、農具川の清掃活動を行っています

きらり輝くおおまち市民

生涯学習～生きがいある人生を～



生涯学習とは、一人ひとりが健康で豊かな生活を営むことや、生活に役立つ知識と技術を身につけ、生きがいのある人生を送るため、自発的意志で、自分に適した方法で

Lifelong learning

Lifelong learning is the self-motivated learning through one's own methods so that each person can live a healthy and rich life with purpose by acquiring useful knowledge and skills. Omachi City does its best to create

生涯を通じて行う学習です。大町市では趣味、スポーツ、芸術、文化活動など、市民がいきいきとした生活を送れるように、生涯学習環境づくりに力を入れています。

a lifelong learning environment through hobbies, sports, arts, and cultural activities, so that its citizens can live invigorating lifestyles.

健康 マーじゃん



市内の社会教育施設では、さまざまなサークルやグループなどの団体が活発に活動をしています。写真は常盤公民館の「雀の会」



美麻公民館で行った「わら細工作り」。伝統工芸を学んで、若い世代へ伝えていくのも生涯学習活動の一環です

わら細工作り

〴〵きらり輝く、女性たちを支援します！

女性未来館ピュア

昭和 59 年に開館。平成 16 年に「働く婦人の家」から「女性未来館ピュア」に名称が変更され、平成 27 年で 30 周年を迎えました。女性の地位向上を目的とし、ファイナンシャルプランナーやアロマセラピストなどの資格の取得、生涯学習など、女性の自立を支援する講座を無料で開催しています。また女性たちが楽しみながら学べる趣味やエクササイズを主体としたヨガ、パン作りや料理教室なども無料で開講（材料費別途）。女性の地位向上と社会進出をバックアップし、大町市に住む女性たちがいきいきと輝いていられるようサポートしています。



フラワー アレンジメント



年間 12 回開催する「フラワーアレンジメント講座」。洋風、和風、季節の花を美しくアレンジしています

平公民館内「女性未来館ピュア」。毎年、1 年の成果を発表する文化祭「ピュアフェスタ」を開催しています



スポーツでコミュニティ

スポーツ活動

スポーツが盛んな大町市。スポーツを通し、生涯にわたり健康で、いきいきとした生活を送ることができるよう、地域社会全体でスポーツの振興に努めています。スポーツの国際大会で優勝する選手が育ってきており、未来を担う子どもたちの活躍も目覚ましく、今後ますますの躍進が期待できます。市ではスポーツ施設を充実させ、市民の皆さんが気軽にスポーツを楽しめる環境づくりにも努めています。



サッカー

バドミントン



全日本総合選手権大会優勝、スーパーシリーズファイナルズ女子シングルス日本人初優勝を果たした奥原希望選手が小学生時代に所属していたバドミントンチーム「おおまちキッズ」



小学校1年～6年生までの男子女子が所属する「大町サッカースポーツ少年団」

北アルプスと自然と人をつなぐ

市立大町山岳博物館

昭和26年に山と大町を愛する若者によって設立された「市立大町山岳博物館」。日本ではじめての「山岳」をテーマとする博物館で、北アルプスを中心とする自然や登山の歴史についての常設展示、企画展、特別展やイベントなどを開催しています。

また「生きた学習・研究の場」として動植物を飼育・栽培する付属園を併設しており、平成27年には「ライチョウ舎」が完成。同年7月よりスバルバルライチョウの飼育も始まりました。

市立大町山岳博物館



北アルプスの成り立ち、山と人の歴史、大町市に住む生き物などを常設展示。3階は展望ラウンジとなっており、目の前には美しい北アルプスの山々が広がります

付属園
ライチョウ舎



北アルプス周辺に生息する動物や植物の生体展示・研究、傷病鳥獣の保護、種の保全に貢献する付属園（動植物園）を併設しています。ニホンライチョウの保護増殖に寄与するための飼育繁殖技術の確立を目的として建設された「ライチョウ舎」では、現在7羽のスバルバルライチョウを飼育しています

元気いっぱい
育っています！



山岳
図書資料館



山岳博物館の敷地内にある、山岳に関する書籍などを収集保管する山岳図書資料館

豊かな自然がおおまちの誇り

自然環境 ~自然との共生~



北アルプスの麓に抱かれる大町市。自然と市民が共生するたくさんの魅力にあふれています。木崎湖、中綱湖、青木湖ではカヌーやボートなどアクティビティが楽しめるほか、山の魅力が堪能できる登山やトレッキングは、初

Natural environment

Omachi City is located at the bottom of the Northern Alps. It is full of many attractions where nature and citizens live together. Lake Kizaki, Lake Nakatsuna, and Lake Aoki offer an abundance of courses that anyone from beginners to those with experience can enjoy, including canoe and boat

心者からベテランまで満足できる豊富なコースがそろいます。子どもが元気に走りまわられる整備された公園や、上質な雪が自慢のスキー場など、四季を通じて、自然とふれあう機会に恵まれています。

activities, and mountain hiking where you can appreciate the wonder of the mountain. Whether its our maintained parks where kids can run around and have fun, or our ski areas with the finest snow, many opportunities to come into contact with nature await you.



山好き絶賛の稜線が自慢

美しい山並み

大町市の財産ともいえる、すばらしいパノラマ。北アルプスはまさに絶景です。また一番の自慢は、牛越市長もお気に入りの鷹狩山。北は白馬岳から南は常念岳まで、北アルプスの山並みが一望できる鷹狩山山頂は、山好きならずとも一度は訪れたい絶好のマウンテンビュースポット。四季折々違った表情で楽しませてくれます。

針ノ木岳
慎太郎祭



大町市出身、日本の近代登山の先駆者の1人としてその名が語り継がれる百瀬慎太郎氏。彼の業績をたたえる「針ノ木岳慎太郎祭」が、毎年6月、夏山シーズンの開山祭も兼ねて行われています

ウインタースポーツ



雪質が最高と評判の大町市内のスキー場。鹿島槍、爺ガ岳、ヤナバスノーパークでウインタースポーツが楽しめます

トレッキング



気軽に挑戦できるトレッキングコースが豊富にそろいます。市外からも多くの方が訪れ、楽しんでいます

キャンプ



家族の夏の思い出を作るのに最適！木崎湖や青木湖のまわりでは整備されたキャンプ場がそろいます



天然の`水、で、心潤うまちづくり

仁科三湖

北アルプスと東山にはさまれるように南から北へ、木崎湖、中綱湖、青木湖と3つの湖が連なっている仁科三湖。フォッサマグナ上にできた北アルプス山麓唯一の天然湖で、小さな子どもから釣り好きまで、多くの市民の憩いの場となっています。

県下有数の透明度を誇る青木湖は、仁科三湖の中で最大の大きさを誇るハート型の湖です。釣り客に人気の中綱湖は、ヘラブナ、マブナ、ウグイなど、冬はワカサギの穴釣りも楽しめます。ウォータースポーツが充実した木崎湖は大町市の人気観光スポット。夏は毎年多くの観光客でにぎわっています。



緑豊かで広大な国営公園

—— 国営アルプスあづみの公園(大町・松川地区)

国営アルプスあづみの公園は、「自然と文化に抱かれた豊かな自由時間の実現」を目的とした、国が管理する国営公園です。四季を通じて、さまざまなイベントを開催。親子はもちろん、老若男女が利用する癒しの場として多くの市民が訪れています。「竹巻きパンづくり」や木材を使ったクラフト体験など、楽しい体験メニューも充実。おとなから子どもまで、自然の中でのびのび自由に過ごすことができる場所として親しまれています。



園内は4つのゾーンにわかれており、豊かな自然に親しみ、さまざまな自然体験をすることができます

市民みんなが主役！

市民参加と協働のまちづくり ～絆が結ぶ輪～



大町市では市民の皆さんが積極的にまちづくりに参加してもらうために「市民参加と協働のまちづくり」を推進しています。市民による地域づくり活動や自治会活動を応援し、気軽に相談できる場として、市民活動サポー

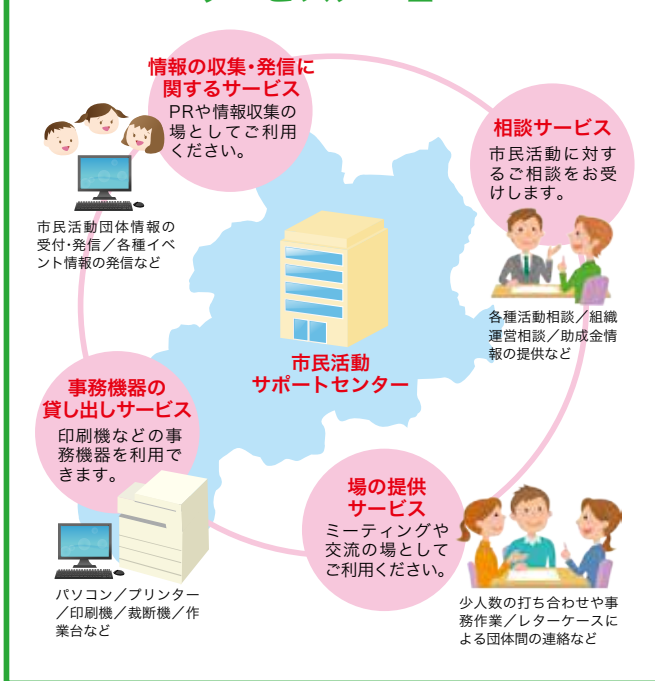
Community development with citizen participation and cooperation

Omachi City promotes "community development with citizen participation and cooperation" so that all of its citizens are active in our development. We opened the citizen activities sports center as a place to assist the community development and neighborhood council activities of our citizens and to give

トセンターを開設しています。また「きらり輝く協働のまちづくり事業の助成金制度」を設け、大町市において、市民が積極的に取り組んでいくまちづくり活動を、財政面でバックアップしています。

them a place to freely seek consultation. We also established the "Subsidy System for Shining Collaborative Community Development" to provide public financial backing to the active community development thanks to Omachi's citizens.

市民活動サポートセンターのサービスメニュー



利用は平日の午前8時30分～午後5時15分。要予約で毎週月曜と木曜の20時までは夜間開所も行っていきます

市民による積極的なまちづくりを応援する 市民活動サポートセンター

市民の地域づくり活動や自治会活動をサポートする「市民活動サポートセンター」のコンセプトは「身近な市政」。市民活動や自治会に対する相談をはじめ、助成金情報などを提供しています。また資料の作成のための事務機器の貸し出しや印刷のほか、ミーティングなどに利用できる場所の貸し出しなども行っています。職員が親身にサポートしていますので、何か困ったことがあったら気軽に相談してみましよう。

市民参加のワークショップ開催

—— 市民参加と協働のまちづくりフォーラム

平成 27年 12月に、コミュニティ形成のヒントを探るワークショップ「第6回 市民参加と協働のまちづくりフォーラム」を開催しました。中・高校生の生徒会やPTA 役員、市民団体など、年齢や職業などがそれぞれ違う市民がひとつのテーブルに集い、グループディスカッションを実施しました。地域における自治会や市民活動など、あらゆる場面でコミュニティを作るヒントを探るべく、有意義な意見交換の場となりました。



第一部で映画を鑑賞し、その感想をもとにグループディスカッションを行いました



市長も参加。市民と一緒にテーブルにつき、コミュニティについて意見を交換しました

きらり輝く協働のまちづくり事業の助成金制度を活用し
頑張っている市民を紹介します！

大町市耕作放棄地有効活用促進団体

大町市の耕作放棄地の有効利用のため、ヤギの放牧を進めている市民団体、別名「ヤギと草むらの会」。耕作放棄地にヤギを放牧することで、再び耕作地として活用できるほか、イベントなどに出向き、子どもたちとヤギのふれあいの場を提供しています。現在登録メンバーは30人で、主な世話は金原さんがひとりで行っています。「大学でヤギによる耕作放棄地の有効活動の研究を行っていたので、そのノウハウを生かしたヤギの放牧を行っています。農学部出身で、もともと動物が、特にヤギが大好きなので、毎日楽しく活動しています」と金原さん。きらり輝く協働のまちづくり事業の助成金を活用して2年。ヤギも順調に増えてきたので、次年度は補助金を受けて独立団体として運営していくそうです。

イベントなどで見かけたら気軽にヤギたちとふれあってくださいね

金原 徹さん



アルプス搗精工場の南側で、現在14頭のヤギたちが放牧されています。希望者へのヤギの貸し出しも行っています



放牧しているところは自由に見学できます。子ヤギとの触れ合いもOK



さまざまなイベントにも参加し、市民とヤギとのふれあいの場を提供しています

KID'S DAY 実行委員会

子どもたちに豊かな経験をさせてあげたいという思いで、仲の良い保護者と一緒に「KID'S DAY 実行委員会」を立ち上げた中村さん。「KID'S DAY」とは、子どもたちが出会いと経験を通じ、大きく成長できる体験型イベントです。平成26年に立ち上げ、平成27年より補助金を受け活動。「補助金をいただくようになったので、講座内容を充実化させることができ、募集人数も前年度の倍に増やすことができました。平成28年にも開催予定なので、より多くの子どもたちに、この経験を届け、大町市の魅力を発信していきたいと思っています」と中村さん。募集人数もさらに倍の200人を予定。子どもたちにさまざまな体験をさせることで「この体験をきっかけに、将来、大町市から世界で活躍する子も出てくるかもしれませんよね。それが夢です」と、きらり輝く笑顔で話してくれました。

夏休み中の2日間で開催しています。お子さんの成長ぶりに驚かされますよ！

中村 真由美さん



100人のおおまちっ子が参加した『キッズデイ 2015 in OMACHI』。スポーツや和紙作りなどの講座から、子ども自身が好きなものを選び計4講座を学びます



運動系で人気だったクライミングは県山岳総合センターで行いました



パン作りや陶芸などの文化系の中ではスイーツデコ作りが人気でした

利便性あふれる交通アクセスの向上を目指す

アクセス～地域の安心・安全をつなぐ～



大町市では、市民の日常生活や社会生活における移動、また観光客などが大町市に訪れるための交通手段として利用される公共交通機関の利便性の向上に努めています。電車、高速・特急バス、市内を走る市民バスが運行。

Access

Omachi City works to improve the convenience of its public transportation facilities used by its citizens in their daily and social lives, and as a means of transport by tourists visiting the city. Trains, high speed and express buses, and citizen-run buses that run through the city are in service. In terms of

道路では、地域高規格道路「松本糸魚川連絡道路」の事業計画が進められています。本道路が整備されることにより、市民は市外へのアクセスが飛躍的に向上し、市外からの来訪者も、スムーズな移動が可能になります。

highways, our high-standard "Matumoto-Itoigawa Highway" construction project has been moving forward. Its establishment will rapidly increase access to outside the city and also allow smooth transportation for visitors.



地域を育む道、命をつなぐ道

松本糸魚川連絡道路

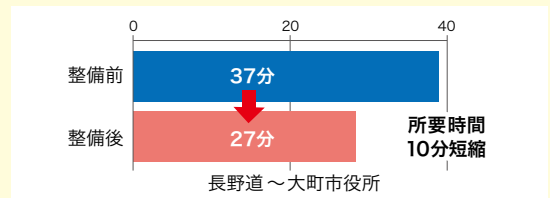
「松本糸魚川連絡道路」は、日本海側と長野県の中央部を結び、首都圏や中京圏へつながり、長野自動車道や北陸自動車道と一体となって広域的な道路ネットワークを形成する高規格道路です。また、平成27年3月に開業した北陸新幹線や日本海側の港湾との連携により、地域を活性化させ、観光振興を発展させる「地域を育む道」であり、災害時の緊急輸送道路として、迅速で確実な救急搬送の確保など「命をつなぐ道」として、地域住民にとって極めて重要な道路となります。

地域唯一の動脈で迂回路のない国道148号は、平成26年11月におこった長野県神城断層地震の際には、およそ17日間にわたり通行止めになりました。地域住民にとって長年の願いであった、災害に強く安全な高速道路網の構築を目指し、一日でも早く整備されるよう、地域が一体となって計画を推進していきます。

「松本糸魚川連絡道路」整備による主な事業効果

・高速道路にアクセスしやすくなります

大町市街地が高速道 30分圏内に！



・医療環境の向上

松本方面への医療機関の救急搬送時間の短縮が図られます。

・物流の利便性向上

輸送時間の短縮により農産物等の安定した出荷が期待されます。

・その他、観光面のアクセス向上や交通渋滞の緩和等が図られます。

おおまびよんのバス停も増えています!

市民の日常を支える大切な交通手段

市民バス「ふれあい号」

市民バス「ふれあい号」は、市民の日常生活の足として多くの市民に活用されています。路線の一部区間においては、停留所以外でも自由に乗り降りできる「フリー乗降制度」を実施。日曜、祝日、年末年始をのぞいて毎日運行しています。



市民バス「ふれあい号」は、市内9コースを運行しています



目的地までに2路線以上乗り継ぐ場合、乗り継ぎができるバス停に限り「乗継券」によって片道1乗車の料金で行くことができます



■ 運賃

※回数券はバスの中で販売しています。

区分	おとな	子ども（高校生以下）	就学前・乳児および幼児
普通	1人1乗車につき 200円	1人1乗車につき 100円	・7歳以上の同伴者1名につき幼児1名は無料 ・1歳未満の乳児は無料 【以下の場合には子ども料金を適用】
回数券 (12券綴り)	2,000円	1,000円	・おとな1名につき2名以上の幼児をお連れの場合は、2人目以降の幼児 ・幼児が一人で利用する場合



長野・北陸新幹線と接続

特急バス長野～大町線

長野駅まで運行している特急バス。新幹線への乗り継ぎがスムーズに行え、信濃大町駅から東京駅までは最速で3時間で行くことが可能です。また北陸新幹線開業により、富山や金沢など北陸エリアへのアクセスがますます便利になりました。4月16日～11月30日は1日6往復、12月1日～4月15日は3往復運行しています。また新宿駅発着の高速バスは信濃大町駅経由で白馬村まで運行しています。

鉄道でつなぐ

信濃大町駅

私鉄「信濃鉄道」（現・JR 東日本大糸線）の停車駅として開業した信濃大町駅。山小屋風の駅舎が特徴的で、平成28年度に開業100周年を迎えます。松本駅に次いで乗り降りが多く、高校生をはじめ、毎日たくさんの市民が活用しています。また、松本～糸魚川間を結ぶJR 東日本大糸線は、平成29年度に全線開通60周年を迎えます。



多くの市民を運ぶJR 東日本大糸線



大正5年開業。平成22年に現・山小屋風の駅舎に改装

地域に密着した情報を提供

情報 ~地域を知る~

大町市では、さまざまな方法で市民に広く市の情報を提供しています。毎月広報紙を発行し、市民と行政の情報共有に努めているほか、必要な情報がスムーズに得られるホームページの運営も行っています。大町市ケー

Information

Omachi City provides a broad range of city information to its citizens through numerous methods. We issue out a newsletter every month, work to share information between citizens and administration, and also operate a homepage so that important information can be obtained smoothly.



ブルテレビでは、週刊情報番組や市政からのお知らせなど、地域に密着した情報を届けています。「総合情報センター」には市民が無料で使うことができるパソコンとプリンターを設置しています。

Omachi cable television provides information covering the region, with a weekly news program and notifications from the municipal government. The "General Information Center" has computers and printers that citizens can use for free.



地域に密着した情報を発信

大町市ケーブルテレビ

平成 23 年 4 月から放送を開始した「大町市ケーブルテレビ」では、ニュースやトピックス満載の週刊情報番組をはじめ、スポーツ大会や講演会、小・中学校、保育園・幼稚園の運動会や音楽会、市議会本会議やお祭りの生中継など、市民に身近な情報を放送しています。



皆さんが気になる
最新情報を
お届けします!

広報紙「広報おおまち」



大町市の施策や事業計画、イベント案内などを市民の皆さんにお知らせする広報紙で、毎月発行しています。各自治会の協力で各家庭に配布しているほか、市役所の市民ホールや総合案内などでも入手できます。

大町市公式サイト



公式サイトでは、市民のための行政情報や暮らしの情報、公共施設、イベント案内などを掲載。市民が快適に利用できるよう、さまざまな情報を提供するホームページを開設しています。



「アート」の力で、おおまちの魅力を再発見！

芸術・文化～地域の魅力を世界へ発信～

芸術や文化は市民の生活に潤いをもたらし、人々の心を豊かにしてくれます。芸術文化を通じて市民一人ひとりが大町市の魅力を再認識し、さらに磨きあげていくことにより、地域ブランドの向上を図り、地域の活力を再生します。そして芸術文化が持つ情報発信力

を最大限に活用し、地域の魅力を外部にアピールすることで、人々の大きな流動を呼び起こし、地域経済の活性化につなげるとともに市の魅力とブランド力の向上により、移住人口や定住人口の増加にもつながっていきます。

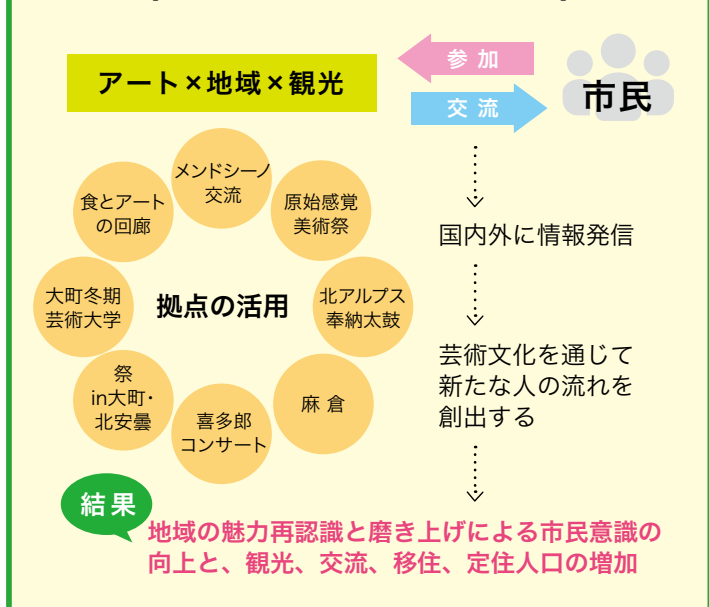
Rediscover the Charm of Oomachi with "Art Power"!

Arts and culture bring moisture to civilian lives and enrich their hearts and minds. By recognizing the charm of Oomachi City through arts and culture again and by polishing it up more, each and every one of the civilians will improve the local brand of Oomachi and regenerate its local vitality. In addition, the civilians will maximally utilize the information dispatch power that the arts

and culture have, and evoke a big flow of people by appealing the local charm to the outside. In this way, being linked to the activation of regional economy, the charm and brand power of the city will be improved and connected also to the increase of immigration and settlement population.

信濃大町アーティスト・イン・レジデンス事業

[信濃大町芸術活動発信拠点構築事業]



平成 29 年北アルプス国際芸術祭 ～信濃大町 食とアートの廻廊～

「信濃大町 食とアートの廻廊」は、平成26年夏に市民団体主体により試行的に開催されました。平成29年開催に向け、北川フラムさんを総合ディレクターに迎え、地域の魅力を世界へ発信し、地域の活性化につなげていきます。



「大地の芸術祭 越後妻有(えちごつまり) アートトリエンナーレ 2015」(新潟県十日町市・津南町)

信濃大町アーティスト・イン・レジデンス事業

国内外からアーティストを招へいし、大町市の資源を活用した現代アート等の創作活動を支援します。また芸術を通して大町の魅力を積極的に発信。観光客、人口が増加することで市内経済の潤いが期待できます。



大町の「山・雪・生活」をテーマに、作家の滞在制作を支援

「おおまちらしさ」をいかした芸術文化活動

大町冬期芸術大学

プロのアーティストなどの講師のもと「パフォーマンス」「空間美術」などから学びたいコースを選択。最後にみんなで一つの舞台を創り上げます。



信濃の国 原始感覚美術祭

木崎湖畔の豊かな自然環境をいかした美術祭。アーティスト、市民、観客が一丸となって、眠っている原始感覚を呼び覚まします。



北アルプス国際芸術祭 信濃大町 食とアートの廻廊

信濃大町の豊かな食文化と、革新的な創造性で地域の魅力を再発見する「アート」を融合させた芸術祭。



毎日を元気に暮らす

健康と福祉～健康に暮らす～



大町市民が生涯明るく元気に過ごせるように、さまざまな施策を通じて市民生活をサポートしています。高齢者福祉では、医療、介護、地域との連携を密にして、誰もが生きがいを持って、健康で安心して生活できる地域づくり

Health and welfare

We support the lives of our citizens through numerous measures so that they can live bright and cheerful lives. Our old age welfare tightly links health care, nursing, and the community together and promotes community development (construction of a community care system) where anyone

(地域包括ケア体制の構築)を推進しています。障がい者福祉では、障がいのある人も障がいのない人も、同じ地域社会でともに暮らしていくという「ノーマライゼーション」の理念のもと、障がい福祉サービスの充実に努めています。

can live a healthy and peaceful life with purpose. Our welfare for disabled persons service also works for those both with and without disabilities under a fundamental philosophy of "normalization" so that they can live in the same community together.

いつまでも元気なカラダづくりを!



大町市生きがいデイサービス

ふれあいプラザ



小山 久枝さん(84)

骨折して一時介護保険サービスを利用していたのですが、またこちらに通いたく、リハビリに励み元気になりました。体操は日常生活にすぐ役立つ立っていますし、心も元気になるですよ!

健康長寿のまちづくりを目指して

介護予防の推進

将来の大町市が今以上に誰もが安心して暮らせるまちとなるために、高齢者の健康維持の向上を図ります。要介護認定者の割合を毎年、前年比から-1%とすることを目標とした「介護予防1/100プロジェクト」を計画し、高齢者から若い世代までつながる介護予防と健康づくり活動の普及に努めます。

【第6期大町市老人福祉計画】

介護予防 1/100プロジェクト

要介護認定者の割合を毎年、前年比1% (後期高齢者 0.6%、前期高齢者 0.4%) 減少が目標



- | | |
|----------|------------|
| 1 運動 | 運動器の機能向上 |
| 2 栄養改善 | バランスよく食べる |
| 3 口腔衛生 | お口の健康を保つ |
| 4 認知症予防 | 閉じこもり防止 |
| 5 地域リハビリ | 生活機能の維持・回復 |

生きがいを見つけよう!

ご近所ふれあいサロン

高齢者が毎日楽しく、生きがいを持って過ごせるよう、地域で交流ができる場を設けています。ひとり暮らし世帯や身体的な要因などにより、地域との交流が疎遠になりがちな人の心身の健康を保つため、外出機会やコミュニケーションの場の確保を進めています。

市内各地で開催されている「ご近所ふれあいサロン」は、高齢者であれば誰でも自由に参加でき、体操、歌、脳トレ、季節の行事などをして楽しい時間を過ごしています。



笑顔も若さの秘訣です!

ご近所ふれあいサロン

宮田町「わかば会」のサロン。この日は体操をした後、持ち寄ったお茶請けを囲んでみんなでおしゃべり





大町市老人クラブ連合会では、ノルディックウォーキングの定期練習を月2回行っています。2本のポールを使ったノルディックウォーキングは、一般的な歩行より運動量が多く、全身の筋肉強化、血行促進が図られるため、各地で人気が高まっています。

イキイキレポート

大町市老人クラブ連合会 体育部長 坂井 謙司さん(82)

ノルディックウォーキングは歩くことがトレーニングになり、筋力の低下を防ぎます。ノルディックウォーキングをきっかけに、普段か

ら歩くことを心がけましょう。最低でも3日に1回ぐらい、好きな時間に自分のペースで、ゆっくり長く歩くことをおすすめします！



ノルディックウォーキングは、高齢者にとってさまざまな魅力があります。筋力維持のために一緒に歩きましょう♪

地域みんなで支えます

障がい者福祉

大町市では障がいのある人たちが、住み慣れた地域で生活を続けられるように、就労支援、日中活動の場の紹介、ホームヘルプ利用支援など、さまざまな支援を行っています。市内の事業所では、日中介護のほか、企業から受注した作業をしたり、パンやお菓子、手芸品などの自主製品を作って販売しています。



共同作業所
がんばりやさん

販売をはじめ、カラオケやコンサートなど、いろいろな活動を楽しみながら行っています



総合
福祉センター



地域に密着した温かく誠実な医療を

市立大町総合病院

『市立大町総合病院』は地域に密着し、安全で質の高い医療を提供しています。脳神経外科を8年ぶりに再開したほか、歯科口腔外科を常勤化して診療科の充実を図り、健診センターには専従の医師を配置しました。産婦人科では、休止していた分娩を再開。また平成26年より信州大学医学部附属病院の総合診療科研修病院に指定されたことで、総合診療科の診療がはじまり、高齢化が進んでいるこの地域の医療をさらに充実させることができました。

診療項目

- ・内科・小児科・外科・整形外科・脳神経外科
- ・産婦人科・皮膚科・泌尿器科・眼科・耳鼻咽喉科
- ・歯科口腔外科・総合診療科

院長先生より

病床の充実と、在宅医療の充実を図り、地域に密着した病院を目指します。また、医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの一翼を担えるよう努めます。



病院事業管理者兼院長 井上 善博先生



年1回開催している病院祭は、健康意識を高める催しや、市民によるステージ発表や模擬店などを行い、毎年多くの人でにぎわいます



健康づくりから笑顔と幸せを届けます

市立大町総合病院健診センター

平成 27 年 7 月に完成した南棟（愛称・さくら）に移転した健診センターでは、心電図や腹部超音波検査・肺機能などの生理検査を、センター内で受けることができます。

また、内視鏡検査室も同じ南棟の 1 階にあり、検査のための移動距離が短く、快適に受診できる環境になりました。



南棟（愛称・さくら）は、1 階に内視鏡室、レストラン、2 階に健診センターが入り、災害時には 1 階の講堂で傷病者を受け入れます



ラウンジ



検査の待ち時間をゆったり快適に過ごせる日帰りラウンジ



1 泊コースは「くろよんロイヤルホテル」での宿泊（送迎付き）。こちらの専用ラウンジでつるいでいただけます

レストラン「ピアンモール」



健診時の昼食は 1 階レストランでご利用いただけます。人間ドックコースを受診の方は、特製メニューをご用意

人間ドック
特製メニュー



検査室



健診センター内で健診専門の技師による超音波検査や心電図検査が受けられます

充実した設備で皆さまの健康をサポートします

人間ドック（日帰り・一泊コース）や生活習慣病予防健診のほか、疾病リスクに対応した脳ドックなど、充実した健診を提供しています。人間ドックに欠かせない胃内視鏡検査では、麻酔を使用し、寝ている間にストレスなく安心して検査が受けられます。

安心して暮らせる地域づくり

まちを守る～住民の団結～



平成26年に長野県神城断層地震が発生し、大町市も美麻地区を中心に大きな被害が発生しました。地震直後に消防団や地域住民による迅速な被害状況の把握や安否確認が行われ、被害は最小限におさえられました。これは地域

Protecting the city

The 2014 Kamishiro Fault Earthquake generated huge damage in both the city of Omachi and the Miasa region. Immediately following the earthquake, firefighters and local residents assessed the damage and checked for people's safety, minimizing the damage. This is perhaps the result of the cooperative

の強い絆に基づく共助の精神と、これまで取り組んできた住民参加型の実践的な訓練のたまものといえるでしょう。これからも市民と行政、防災関係機関が一体となって防災意識の向上を図り、災害に強いまちづくりを目指します。

spirit based on strong community bonds and the practical training with locals that have been carried out. We will continue to work together with citizens, administration, and disaster prevention institutions to improve awareness, and aim for creating a community that disaster-resistant.



倒壊家屋からの救出訓練は、詳しい被害内容を知らせずに行うなど、実践的な訓練を取り入れました。土砂に埋まった車や倒壊家屋などを再現し、がれきの撤去や負傷者の搬送を消防署や消防団などが連携して行いました



北アルプス広域消防本部と消防団による一斉放水訓練も行われました

連携強化と防災意識の高揚を

総合防災訓練

大町市地震総合防災訓練が行われ、地域の住民や関係機関など約400人が参加しました。長野県神城断層地震を教訓に、被害状況の把握から始まり、土砂に埋まった車両からの救出、救急救護所設営、負傷者対応などの訓練が行われました。

訓練を通して、住民一人ひとりの防災意識を高めることができました。

消防団の活動を知り、次の世代へつなげる

消防フェスタおおまち

平成 27 年秋『消防フェスタおおまち 2015』が、国営アルプスあづみの公園大町・松川地区で開かれました。このイベントは、子どもたちに未来の消防団員になってもらうことや消防団活動のPR、市民に防災知識を持ってもらい1人でも多くの人を救うことを目的としています。

消防車の乗車体験や放水体験など防災に関するアトラクションをまわりスタンプを集めるスタンプラリーを開催しました



消防技術の向上のために

県ポンプ操法・ラッパ吹奏大会

平成 26 年には、県と県消防協会により『第 56 回長野県ポンプ操法大会、第 23 回ラッパ吹奏大会』が大町市で開催されました。この大会は、日頃の訓練成果の発表とポンプ操法とラッパ吹奏技術の向上や団員の士気高揚を目的としており、大町市での開催は、昭和 50 年以來 39 年ぶりです。

競技にはポンプ車操法や小型ポンプ操法の部、ラッパ吹奏の部に 38 チームが出場し、大北の代表として大町市からは小型ポンプ操法とラッパ吹奏に 1 チームずつ出場しました。



県内各地の大会を勝ち抜いた代表が熱い戦いを繰り広げ、市内の女性団員で編成したチームが小型ポンプ操法のデモンストレーションを実施しました



訓練に参加した約 50 人の市民は、4 班に分かれて消火、救出、救護や救命の訓練を順序立てて進めることにより、住民ができる災害時の対処方法を学びました

住民一人ひとりの共助の心を養う

住民参加型訓練

平成 27 年、八坂地区において、長野県北部を震源域とする大規模な地震が発生したという想定で、住民参加型の防災訓練を実施しました。今回の訓練は、神城断層地震の経験を踏まえ、住民の防災意識の高揚を図るとともに、消防団員の専門性の高い知識と技術を習得することを目的に実施しました。

こうした住民参加型の訓練は、今後も各地区を巡回するなどして、さらに多くの市民に参加いただけるよう努めていきます。



ビジネス環境

～地域の活性を図る～

工業・商業・農業・第6次産業の4つの産業にスポットをあて、輝いているの方々をご紹介します。

工業

おおまちで育まれた天然水を全国に AW・ウォーター工場長・笠井良司さん

豊かな水資源に恵まれた大町市。地下 200 メートルから汲み上げた天然水を宅配型飲料水として製造する「AW・ウォーター」で工場長を務めている笠井さん。もともと東洋紡の会長と「AW・ウォーター」の親会社である「エア・ウォーター」の名誉会長が親しかったことが縁で立地を決意。おおまちな恵まれた水資源、北アルプスの天然水に着目し、飲料水の製造と販売をスタートさせました。

「大町市は豊かな自然に囲まれており、地下水の質がとても良く、源水そのものが非常にピュアなんですよね。そして味もたいへん良い。その味をいかすために、非加熱殺菌でできるだけ自然の状態でお届けしています」と笠井さん。とくに品質管理は徹底しており、安心して飲める高品質のミネラルウォーターを提供しています。また、こちらの企業は大町市の用地取得価格および投下固定資産総額に対する助成金を得られる優遇措置制度を利用。



高い品質と均等のとれた味わいで「モンドセレクション」最高金賞を2年連続で受賞

「助成していただいていたいへんに助かっております。またワンストップサービスによって、わからないことは市役所で何でも教えていただけるのもうれしいですね」。市が誇る新ブランドの確立だけでなく、新しい会社ができることによって地域の雇用も増え、大町市のさらなる発展につながる取り組みに、今後も期待が高まります。



profile

東洋紡(株)大町工場の跡地にて、平成24年に設立した「AW・ウォーター株式会社」取締役・信濃大町工場長 笠井良司さん。



東洋紡(株)大町工場の跡地

大町市が地域産業をバックアップ

産業用地を案内し企業を誘致

大町市では豊富な地域資源をいかし、貴金属や紡績などの産業が栄えてきました。現在は、市内に化粧品や食品、飲料水などの産業が立地していますが、さらに活力あるまちにしていきたいために、企業誘致を行い、大町の産業を活性化させる取り組みを行っています。

企業立地が実現すると、従業員などの人口増加、新しい地域産業の発展、観光産業と一体となった事業展開など、さまざまな効果が期待できます。

ONE STOP SERVICE

円滑な企業立地をサポートするワンストップサービス

大町市に立地を希望する企業の皆さんが各種申請手続きを行うにあたって、少しでも手間をはぶき、各種申請手続き等を円滑に進めるため、企業立地に関わる関係部署からなるプロジェクトチームを設置。さまざまな情報をワンストップで提供できる体制を整えています。

問い合わせ先 大町市産業観光部産業立地戦略室 TEL.0261-22-0420 (内線 541)

商業

「大町名店街」で串揚げ居酒屋を経営する若きオーナー・花田直行さん

古き良き昭和レトロな雰囲気が漂う「大町名店街」。シャッターが下りている場所も少なくない商店街において、飲食店が元気に営業している「大町名店街」は活気ある飲食街です。ここで串揚げをメインにした居酒屋を営んでいるのが花田さん。白馬にスノーボードをしに来たことが縁で、おおまちに1ターンし、居酒屋を開店させました。

「大町市に来てかれこれ7年くらいですかね。住んでわかったことですが、おおまちの方々には親身になってくれる人が本当に多いです。最初は知り合いもいなくて不安も大きかったのですが、お店のオープン時はいろいろな方が助けてくれましたし、今もたくさんのお客様に支えていただいています」と花田さん。空き店舗活用事業の制度も知らなかったそうですが、親切に教えてくれる人のサポートのおかげで補助金を得ることができました。

「大町名店街のお店同士協力しあって、お客さんを呼ぼうという頑張りがあります。みんなで掃除をしたり、名物メニューを考えたり、イベントの時は豚汁を振る舞ったりしています」。居酒屋やスナック、パン屋やネパール料理など、歩いて見るだけでもわくわくする「大町名店街」。まちを元気にするため、若いオーナーたちが日々頑張っています。



素材にこだわった本場大阪の串揚げを提供。アットホームな雰囲気も魅力



profile

「本場大阪の味 串揚げ酒場 花山」代表 花田直行さん。兵庫県出身、1ターンで大町へ。平成23年開店。本場大阪の味が楽しめる串揚げが評判。



空き店舗事業を活用した店舗の一例

空き店舗で商売をはじめ市民をサポート

空き店舗活用事業

大町市内にある空き店舗の解消と、地域活性化を目的とした空き店舗活用事業では、空き店舗を利用し、新規店舗等を開店する人に対して補助金の支援を行っています。内容は事業によって異なりますが、店舗の改修費用や家賃負担など、開店時にかかる資金の補助を行っています。

商店街の振興を促し、まちが元気に活気づくると、観光客も多く訪れ、さらなる地域振興につながっていきます。

EVENT & OTHER

三蔵呑み歩き



徒歩で行ける3つの酒蔵をまわり、大町市が誇る豊かな清流と良質なお米からなるおいしい地酒を堪能できる人気のイベント。毎年多くの市民や観光客でにぎわいます

荷ぐるま市



トラックの荷台に地元の特産物や企業や市民などの出品物をのせ販売するイベント

プレミアム付き商品券



購入金額に2割上乗せで利用できるプレミアム付きの商品券。大町市でも平成27年に販売されました

農業

ワールドワイドなりんご農家を目指す
小澤果樹園 代表・小澤浩太さん

北アルプスの豊かな水と寒暖の差が大きな気候。農作物を育てるには最適な環境である大町市で、およそ 100 年前から代々りんご農家を営んでいる『小澤果樹園』。現在は 4 代目の浩太さんが代表となり、お父さんから受け継いだりんご畑をさらに発展させるために、先進的な栽培方法を取り入れたりんご作りを行っています。「りんご栽培の技術は、日本の中では長野県が最先端だと思います。中でも我々のベースはイタリアにあり、父はイタリアの技術を見よう見まねで取り入れていました。就農初期に、イタリアの南チロル地方へ行く機会に恵まれたので、そこで行われている本場の最新技術、高密度植わい化栽培を学ぶことができました」と小澤さん。翌年に早速実践し、平均以上の収穫量と作業効率化を実現しました。

小澤さんは、長野県農業を担う青年農業者からなる団体「PAL ネットながの」の会長をつとめています。生産者同士の意見交換はもちろん、異業種交流や他県との交流などを通じ、技術の向上や新たな発見が生まれ、ときには農林水産省に対して意見提言などを行うこともあるそうです。

取材日の直前までアメリカへ行っていた小澤さん。「僕がこの先やりたいと思っていることの研修へ行ってきました。これからはりんごの付加価値を高めていきたいと思っており、りんごのお酒に注目しています」。グローバルな視点から将来を見据え、楽しんで農業に取り組む新進気鋭の農業家。「職人として次世代にも残るものづくりをしたい。それで、おいしさとおもしろさを求めて世界中から人が集まる、おおまの観光誘致にもつながると思うので」自分だけでなく、地域全体の幸せを考え、新しい取り組みを常に考えています。『小澤果樹園』ブランドのりんごのお酒「ハードサイダー」が飲める日も、そう遠くない未来かもしれません。



profile

『小澤果樹園』代表 小澤浩太さん。大学卒業後、松本の IT 企業に就職し、プログラミングと営業を経験。平成 25 年秋に『小澤果樹園』の代表に就任。



とても仲がよい小澤さん親子。「父はとても勉強熱心で、栽培法に関しても先進的な考えの持ち主」。そんなお父さんの背中を見て育った小澤さん。りんご栽培の職人として、心から尊敬している気持ちが伝わってきました

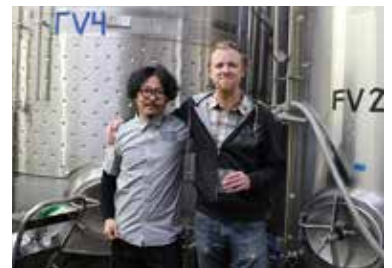
信州ブランドのシナノシリーズをはじめ、フジやつがるなど一般的な品種のほか、栽培ライセンスを取得し、海外品種「ピンクレディー」の生産も行っています



スタッフでフジの人工授粉作業を行っている様子。りんごジュースやりんごジャムなども企画・販売。そして新たに、りんご酒「ハードサイダー」の製造を目指す予定



平成 28 年 3 月、アメリカオレゴン州ポートランドのハードサイダー醸造家のもとで技術研修を受けました。「確かな技術を持って、原材料から商品まで味にこだわって作ることができる“クラフトマン”。こそが、これからの農業界に必要とされる人材だと考えます」と小澤さん



水稲

県内有数の米作地帯である大町市。お米作りも盛んです！

のどかな田園風景が広がる大町市。米作りが盛んに行われており、北アルプスの雪解け水で育まれた、おいしいお米が名産品となっています。ほかにも、ソバ、麦、大豆などを生産しています。

6次産業

おおまち初のワイナリーを開業 地元産ワイン作りに取り組む若林政起さん

6次産業化とは、農業（生産）だけでなく、加工、流通、販売、サービスまでを一体化した産業のことです。この6次産業を行っているのが、おおまち初のワイナリー開業を実現した『ノーザンアルプスヴィンヤード』代表・若林政起さんです。大町市はワイン用のぶどうを作るには最適な気候。幸いにも実家は農家、またソムリエの若林英司氏がいとこだったことも追い風となって、若林さんはブドウ栽培から生産までを行うワイナリーを作ることを決意します。

「周りは大反対でした。建物や設備などにかかる費用が数億円という見積もりになり、一度はあきらめるしかなかったですね」。年月が経ち、県内にも小規模ながらも魅力あるワイナリーがではじめた頃、若林さんのお母さんが亡くなったことをきっかけに、再度ワイン作りチャレンジすることに。

「国や県、そして大町市からバックアップしていただき、これならやれるんじゃないかという確信がもてたのでスタートしました。それでも想定以上にお金がかかってしまったので、軌道にのせるまでは大変です。今でも短期でほかの仕事しながら、なんとかやっています」。

ワインの作り手になる前はコンピューターのプログラマーだった若林さん。「お金を稼ぐということだけ言えば、コンピューターの仕事をしていました。でもコンピューターは常に新しいものが出てきて、5年も経てば古いものは捨てられてしまう。そうではなく、もっと“ものづくり、に特化した職人になりたいかったです」と若林さん。

大町市初のワイナリーの完成は、観光面でも大きな期待が寄せられます。平成28年初夏には販売所もオープン予定。若林さんが愛情込めて育てたブドウからなる地元産のワインで乾杯するのが楽しみです。



profile

『ノーザンアルプスヴィンヤード』代表 若林政起さん。平成20年からブドウ栽培に着手。平成25年に農業生産法人(株)ノーザンアルプスヴィンヤード創立。平成26年、6次産業化認定を経て、平成27年にワイナリー完成。



「徐々に規模を大きくしたいと思っています。でも高品質なものを作り続けるには、自分の目が届く範囲内でやらないといけないので、やりながらどうするのがいいか考えていきたいです」とブドウ栽培について語る若林さん



おいしいワインを作るため「データ管理、収穫分析など、これからの課題は山積みです」と若林さん

3.5ha(ヘクタール)のブドウ園では、シャルドネ、メルロー、ピオーネなど数種類を栽培しています



平成28年初夏にはワイナリーの一角に、試飲ができる販売所をオープン予定です



平成25年産のメルロー、シャルドネ。限定分はあっという間に完売するほど人気



6次産業をサポート

金銭面の支援だけでなく、技術面のサポートも万全！

観光や商業と連携した農産物の振興、6次産業に取り組む農業者の支援などを行っています。農林水産課では、助成金などの支援のほか、技術的な相談にも応じています。農業以外でも、加工や情報発信にいたるまで、親身になってサポートしていきます。

問い合わせ先 大町市農林水産課 TEL.0261-22-0420(内線662・663)

おもてなしの心 ～市民活動～

観光客におもてなしをする活動を行っている市民の方々をご紹介します。

『国営アルプスあづみの公園』で 公園サポーターとして活動する窪田徹雄さん

『国営アルプスあづみの公園』のオープン以来、公園サポーターとして公園のガイドボランティアを行う窪田さん。ガイドの仕事は週末、午前と午後1日2回、約104ヘクタールの大きな公園を歩いて回りながら、公園の説明をはじめ、歴史、植物や野鳥など、さまざまなことを教えています。

「国営公園に携わることをしていたいと思い、公園サポーターになりました。この仕事は楽しいことだらけです。いろいろな方との出会いもありますし、その方に合わせて話をするのも楽しいですよ」と御年80歳の窪田さん。公園内にある「山の神遺跡」の話や、木にとまっている野鳥の名前など、尽きることがない知識の豊富さにびっくり。また、お客さんに合わせて時にゆっくり、時に素早く歩いてくれるところに「おもてなしの心」を感じます。

「現在活動しているサポーターは34人です。元学校の先生だったり、植物に詳しい人がいたり、皆、それぞれ専門分野があるので、みんなで教えあったりしています。サポーター同士が連携して、お客さんに楽しんでもらおうという気持ちで活動しています」。

窪田さんにとって「おもてなし」とは？「楽しみや喜びを共有することではないですかね」。おもてなしの心であふれた公園ガイドの仕事はまさに天職といえますね。



豊かな自然環境と、観光、文化、環境学習等の多様なレクリエーション活動の拠点となる公園



profile

『国営アルプスあづみの公園』公園サポーター 窪田徹雄さん。ガイドの日は1日約2万歩も歩いているそう。「サポーターの仕事が元気でいる秘訣ですね」と窪田さん。

大町温泉郷の温泉旅館で 若女将として働く碓井道乃さん

大町温泉郷は黒部ダムに通じるアルペンライン沿いにあるため多くの観光客が訪れる大町市きっての観光名所です。老舗旅館の若女将を務める碓井さんに「おもてなし」についてお聞きしました。

「快適な空間でくつろいでいただくというのは旅館であればどこでも共通することだと思うのですが、その中でも「館内でおおまちらしさを感じていただく」ということが、私たちの考えるおもてなしだと思います」。平成27年には関電トンネル・トロリーバスの利用者が年間で100万人に到達。観光客がおおまちを気に入り、再度訪れたいと思ってくれるように、観光地ではさまざまな取り組みを行っています。こちらの旅館もそのひとつで、碓井さんもお客様一人ひとりに適したおもてなしを行っています。

「一辺倒のおもてなしをするのではなく、そのお客様が我々に何を望んでいるのか、素早く見抜いて、その方に合ったおもてなしをすることが大切だと思います」。温泉郷に限らず、最近は海外の観光客も増えています。

「外国からのお客様に対して心がけていることは、一生懸命コミュニケーションをとることが大切だと思います。言葉は通じなくてもその想いは必ず相手にも伝わると思っています」。市民一人ひとりが観光客を迎える気持ちこそが「おおまちのおもてなし」につながっていくのでしょうか。



大町温泉郷にある温泉宿。家族経営なので、自然とおもてなしの心も育まれました

profile

『緑翠亭 景水』若女将 碓井道乃さん。老舗に甘んじることなく「時代の変化と共に変わっていくことが大切なんです」と、日々サービスの向上に努めています。

『山岳博物館 友の会』で 会長を務める宮澤洋介さん

日本初の山岳をテーマとした博物館で「大町山岳博物館 友の会」として、博物館をサポートする団体の会長を務めるのが宮澤さんです。

まず「友の会」ができたきっかけは何だったのでしょうか？「昭和53年に山好きが集まって発足したのがはじまりです。私もなにしろ山や自然が大好きだったので、博物館に足繁く通うようになりました」。

どんな活動をしているのですか？「年4回博物館と共催でイベントを開催したり、館内のガイドを行ったり、まわりの草取りを行うなど、さまざまなボランティア活動を行っています。特に盛んなのはサークル活動で、山登りが好きなグループは登山をしたり、花が好きなグループや山岳文化を調べるグループなど、それぞれ好きな分野で思い思いに活動しているんですよ」と楽しそうに話す宮澤さん。「すごく楽しいですよ。長野県山岳総合センターで1泊して、朝早くから暗いうちに鷹狩山へ行き、野鳥の観察をしたり。烏帽子岳へ登山に行った時もみんなと和気あいあいと登るので、初心者の方でも楽しく登れるんです」。

現在会員は何人いるんですか？「全国に300人弱です。会員が高齢化してきているので、おまちの自然を守るためにも、若い人たちにもぜひ興味を持ってもらいたいですね」。

自然景観を守るおもてなし。ぜひ継続していきたいものです。



友の会会員募集中！入会の問い合わせは0261-23-6334まで



profile

『大町山岳博物館 友の会』会長 宮澤洋介さん。昭和53年に友の会が発足してから4代目の会長となり、会長歴は10年ほど。ライチョウに関する活動も行っています。

民話を通し潤いあるまちづくりの一端を担っている 『大町民話の里づくりもんぺの会』の皆さん

大町に古くから伝わる民話を紙粘土で人形にし、読み語りとともに次世代へ伝えていく活動を行う『大町民話の里づくりもんぺの会』の皆さん。「薄れゆく地域の民話を語り継いで残していきたい」という思いから会を発足。メンバーは現在38名で、人形制作担当、語り担当など、それぞれが得意な分野を担っています。

「子どもたちが食い入るように語りを聞いてくれ、民話に興味を持ってもらい、そこから郷土愛が広がっていけばうれしいです」。地域の学校や保育園などで民話を語り継いでいるほか、「JRリゾートビューふるさと」の列車内で、大糸線沿線の案内や地元で伝わる民話の語りを観光客相手に行っています。

「列車の中では、景色と民話を楽しんでいただいています。ただ見ているだけだと“ああきれいだな、で終わってしまう景色も、お話しと一緒に楽しんでいただくと、また違った角度で楽しめるんですよ」。景色を目で見て楽しみ、語りや余韻を感じて心で楽しむ…これぞ、もんぺの会流の“五感のおもてなし”。「楽しんで活動をしています。ぜひ仲間になりませんか？」。



人形はJR信濃大町駅隣「アルプスロマン館」内「もんぺ家」にて常設展示中



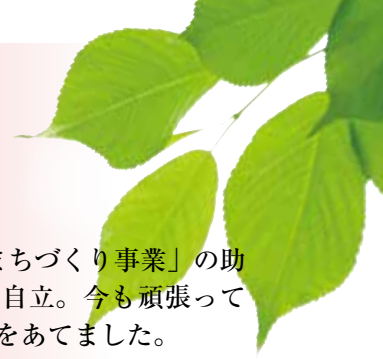
profile

『大町民話の里づくりもんぺの会』の松本さんはじめ、この日は8名のメンバーが集まってくれました。イベント活動、「JRリゾートビューふるさと」で語りのほか、待合室でも毎月第1日曜日に民話の語り、また、要請に応じ地域へ出張語りもしています。

まちづくり団体

～さらなる活動の広がりを目指して～

「きらり輝く協働のまちづくり事業」の助成金制度を活用し、自立。今も頑張っている団体にスポットをあてました。



NPO法人 女性健康支援 SANBAの会

赤ちゃん、妊婦さん、子育てママをはじめ
更年期世代から高齢者女性までの健康を支援

助産師を中心に結成された「NPO法人 女性健康支援 SANBAの会」。子育て中のお母さんをはじめ、更年期に悩む女性や高齢者まで幅広い女性たちをケアしている支援団体です。

「助産師をやっていたメンバーが集まり、何か地域でできることはないかと考え、たまたま市の「きらり輝く協働のまちづくり事業」の助成金制度ができたので申請したんです。何をどうすればいいのかまったくわからなかったのですが、サポートセンターで丁寧に教えてくれたので助かりました」と理事長の宮崎さん。会を立ち上げてから徐々に広がり、今は女性全般の健康に対してのケアを行っています。

「きらり輝く協働のまちづくり事業」の助成金制度を受けられるのは3年間まで。「私たちは3年受けた後、長野県の『地域発元気づくり支援金』を2年活用させていただきました。3年間のところ、1年残し自立しました」。会発足の当初から自立を視野に入れ活動。「助成がないのはやっぱり大変です。メンバーは「地域のために」という強い思いで運営しています」と宮崎さん。ほぼボランティアで活動しているSANBAの会。「ここに来てよかった!」と言っていた瞬間があるので頑張れます。お友だちができたり、悩みが解決したり。あと更年期以降の方も、ここへ来て歩けるようになったとか、効果があったとよこんでくださったときなど、やっていてよかったなと思います」。

地域のために自分ができるところを。「きらり輝く協働のまちづくり事業」は、そんな皆さんを応援するための助成金制度です。



現メンバーは13人で、理事長の宮崎ひでみさんをはじめ、ベテラン助産師、看護師、保育士など、育児を専門としてきた女性たちがケアにあたります



毎月1回行われているわらべうたマッサージは、わらべうたに合わせて、ベビーマッサージを行います。赤ちゃんも気持ちよさそう!



ベビーピクス&ヨガやマタニティヨガ、育児相談など、子育てママたちがひとりで悩まないような講座を毎週開催しています



育児相談だけでなく、更年期以降の女性のためのエクササイズなども開催しています



きらり輝く協働のまちづくり事業助成金制度

きらり輝く協働のまちづくり事業助成金は、市内広範、多様な分野において「市民参加と協働」によるまちづくりを推進するため、市民の皆さんが自主的に取り組むまちづくり活動を財政面から支援するものです。

問い合わせ先 市民活動サポートセンター TEL.0261-85-0531(直通)

高瀬川ホタルの里保存会

新たな名所にしようと ホタルが生息しやすい環境を整備

平成 23 年に発足した「高瀬川ホタルの里保存会」。高瀬川河川敷内にホタルの生息地を造り、観賞に訪れる人のために遊歩道を整備。ホタルが舞う 7 月初旬には「ホタル観賞会」というイベントを行うなど、おまちの新しい名所にしようと大いに頑張っている団体です。

ホタルを見ることが出来るのはほんのわずかな期間。冬は水路から雪をどかしたり、ホタルが生息するための環境整備だけでなく、看板や照明、イルミネーションなどを設置するなど、手間や苦労は少なくありません。それでも「来てくれた人が『うわ～！いたいた！』と感動の声をあげてくれた時、そんな苦労もふっとびますね」と北沢さん。おまちをホタルの里にするため、日々頑張っています。



ホタルが生息する自然環境を整え、エサとなるカワノナを養殖。子どもたちが気軽に遊べるようにと、10 年前からコツコツ造りあげた水路に、美しいホタルが乱舞します



ホタルの生息は自然環境に大きく左右されるので、北沢さんもドキドキしてホタルの時期を迎えるそう。たくさん飛ぶといいですね



高瀬川の白砂をしき、小さい子どもからお年寄りまで歩きやすい遊歩道に整備しました。「ホタル鑑賞会」の時期にはのぼり旗も設置

ホタルを見に来てくれる人が年々増えているのもうれしいですね



代表
北沢 学さん

NPO法人 仁科の里造り

地域住民のために環境を整備 みんなに喜んでもらうために協働

遊休荒廃地の整備、生活道路の環境整備などを目的とした団体「NPO 法人 仁科の里造り」。「平成 21 年に、車が通る妨げとなる支障木を整備しようと立ち上げたのがはじまりなんです」。遊んでいる土地を耕し農作物を作ったり、収穫したそばで子どもたちと一緒にそば打ちをしたり、活動は多岐にわたります。

「きらり輝く協働のまちづくり事業」の助成金制度から独立し、現在はどうか？「今は畑で作った農作物を出荷し、それを運営費にあてています」。そうは言っても資金面の悩みはつきず…。「大変ですね。整備する重機を借りるにもお金がかかりますからね。でも幸いにもよくしてくれる人が多く、みんなが地域をよくしていこうという思いで協力してくれています」。まさに協働のまちづくりです。



遊休荒廃地を畑にし、ネギを作っています。このネギを楽しみにしている住民も多いです。「喜んでくれる人がいるので、やめるわけにはいかないんですよ」と清水さん

地域の方から需要がある限り、これからもがんばって活動していきます！



代表
清水 憲一郎さん



整備した畑で、子どもたちと一緒に収穫をしました



木が邪魔だから切ってくれという依頼で出動。まちの便利屋さんの依頼も

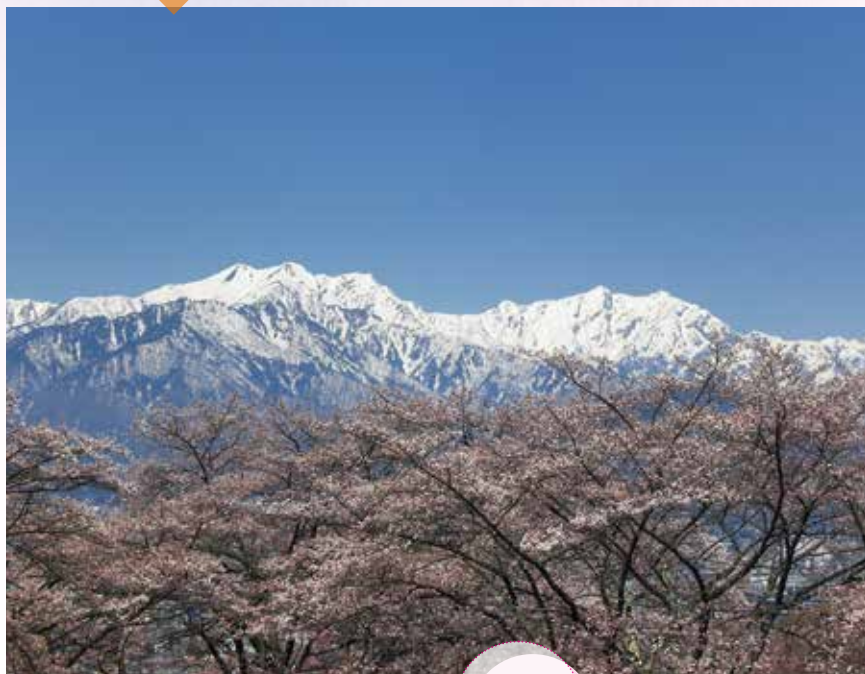
四季
彩祭

📷 カメラを持ってでかけよう

大町 四季の風物詩



須沼の一本桜



サクラ

大町公園



中網湖

大町公園、大町霊園、観光道路が大町のサクラの名所。市街地のソメイヨシノの見ごろが過ぎた頃、咲き始める中網湖のオオヤマザクラはカメラマンに人気です。

高瀬川



大町特有の深い青色のアイヤメと色とりどりのツツジを眺めながら、のんびりと散策ができる農具川沿いの「大町ツツジ・アイヤメ街道」。アイヤメ約1万株が見事に咲きます。

アイヤメ
街道

菜の花

5月5日の塩の道まつりで人気の撮影ポイントとなっているのは、平地区海ノ口の菜の花畑です。中山高原の北アルプスを望む丘を彩る菜の花は、おいしい菜種油となります。



春

サクラ、菜の花、
ミズバショウ、ザゼンソウ、
カタクリ
里も山も花の競演



残雪の北アルプスが映える、大糸線沿線の早苗田。長い冬にたえた自然が、夏に向かって一気に色彩を増していきます。

大糸線



市街地の西側を流れる高瀬川の清流。上流では市のシンボル「カモシカ」に遭遇することも！

塩の道 まつり



仁科三湖周辺には塩の道と言われる、千国街道の面影が随所に残っています。毎年5月3日～5日に小谷村・白馬村・大町市で「塩の道まつり」が(大町市では最終日の5日)開催され、里山の風景を歩きます。





黒部ダム

昼夜の寒暖差が大きく、水のきれいな大町市では、美味しいそばも有名です。8月下旬～9月中旬には市内各所でソバの花を見ることができますが、やはり絵になるのはそばの里美麻地区新行と、菜の花に替わって丘一面に咲く中山高原ではないでしょうか。



ソバの花



遊覧船ガルベ

雄大な立山連峰と、迫力の観光放水は何度見ても爽快！晴れた日には大きな虹が見えるかもしれません。遊覧船ガルベは、満水時には湖面の標高日本一の1,448 mになる黒部湖を、約30分で一周します。



木崎湖
花火



種池平と
剣位山



鹿島槍ヶ岳と冷池山荘



雪渓

針ノ木大雪渓は、白馬大雪渓・富山県の剱沢雪渓と共に、日本三大雪渓の一つ。6月第1日曜日には針ノ木岳慎太郎祭(夏山開き)が行われます。手前の岩場に咲くかれんな高山植物も楽しめます。



子ども
流鏝馬



7月第4日曜日に、700年余りの伝統を持つ若一王子神社の例祭奉祝祭で行われる「子ども流鏝馬」は、鎌倉の鶴岡八幡宮、京都の賀茂神社と並ぶ3大流鏝馬の1つで、全国でも珍しい子どもが射手を務める行事です。10騎の射隊には少年射手が華やかな衣装を身にまとい、駅から神社に至るまでの各所に設けられた的を馬上から射ながら進行する様子を間近で楽しむことができます。

若一王子祭り



社の緑が
人々の熱気を包む
今日は晴れの日
祭りの日

大町を代表する夏祭りが、若一王子祭りです。八坂神社の前夜祭、翌日には八坂神社例祭と神輿渡御のお天玉さまが行われ、祭りの雰囲気盛り上がりきたところで、稚児行列と若一王子神社前夜祭、そして最後に若一王子神社例祭奉祝祭と10騎の流鏝馬、6台の舞台(山車)が各町ごとのお囃子に合わせて登場します



巡行改めの儀

夏

三仁
湖科

北アルプスと東山にはさまれるように南から北へ、木崎湖、中網湖、青木湖と3つの湖が連なる仁科三湖。透明度の高い青木湖は、大きなハート型に美しい水をたたえ、憩いの中網湖は釣りのメッカ。木崎湖は市街地に最も近く、ウォータースポーツのフィールドとしても全国から熱い注目を集めています。



国営アルプスあづみの公園
大町・松川地区



実りの秋
人々は収穫の
喜びに満ちて



北アルプス 三蔵呑み歩き

「北アルプス 三蔵呑み歩き」とは、参加証となるきき猪口を購入して、市内本通り周辺を歩きつつ、大町にある三つの地酒蔵を呑み歩くイベントです。また、協力して頂いているそれぞれのお店でも、この日だけの特別品／特別サービスなどが登場することもあります。

全山紅葉
冬を前にした
神々のまつり

太々
神楽



仁科神明宮例大祭に能を取り入れた太々神楽が奉納されます。剣の舞・岩戸神楽・五行の舞・水継・幣（ぬさ）の舞・竜神神楽・道祖神の七座から成り、もとはさらに大蛇の舞があったといわれています。いずれも荘重典雅な舞です。終了後、道祖神神楽にあやかり破魔矢が参拝者に配布されます。

青木湖

湖の周りには針葉樹、広葉樹の林が迫り、湖面に映る様が心を和ませます。気温の下がった早朝は、霜が発生して神秘的な情景をつくります。



県宝の山門と市天然記念物の「オハツキイチョウ」は有名ですが、霊松寺の良さはいろいろな角度からと、1シーズンの間にいろいろな紅葉の見頃を楽しめるところです。寺の方へ進んでいく道では、カエデやオハツキイチョウが敷地内を囲うように彩り、東庭も早めに色づき始めます。



霊松寺

大町アルプスマラソン

“日本の屋根を走ろう”をキャッチフレーズに3000m級の山々が連なる北アルプスの麓で開催。のどかな田園地帯、美しい紅葉の山裾、湖のほりを走る自然豊かなコース設定。高低差200m、第一折り返し点までは下り、それからは登りの厳しいが走りがいのあるコースです。

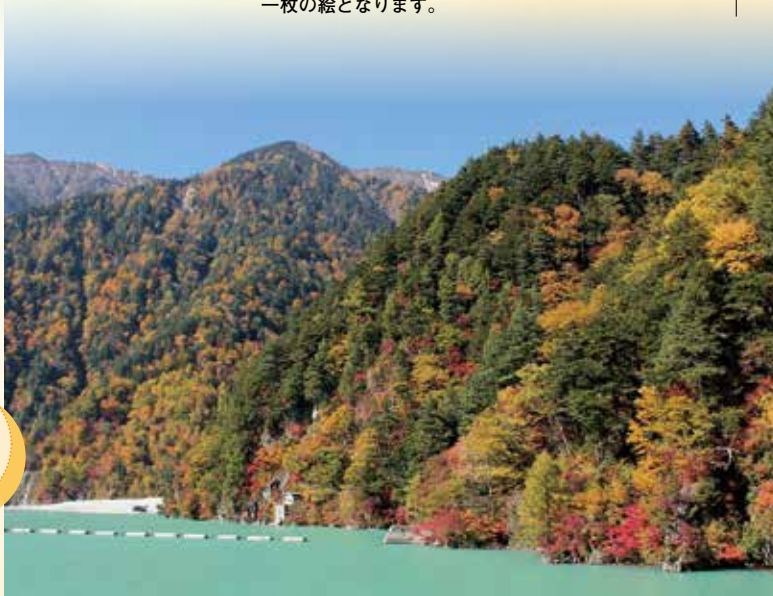


秋

山肌は
日々刻々とその
装いを変えていく

県内有数といわれる高瀬渓谷の紅葉。エメラルドグリーンのダム湖、高瀬川と支流の沢が構成して描かれる、一枚の絵となります。

高瀬
渓谷





初詣

神仏習合の姿をそのままに残した仁科の里の大社として、歴史と伝統を今に伝える若一王子神社。1556年、仁科盛康により造営された本殿は、国の重要文化財に指定されています。



新春を寿ぎ
家内安全を祈る



古来より生活に欠かすことのできない塩。その「塩の市」が転じて「あめ市」になったと言われています。福あめや縁起物売る露店が並ぶほか、さまざまなイベントも開催され、にぎわいます。



大町あめ市



八坂大滝 氷瀑





節分祭

一年間の福や無病息災を願い、若一王子神社で行われる節分祭。恒例の「福豆まき」やおくじ抽選会を楽しみに、大勢の方が集まります。



雪国には
雪国ならではの
楽しみがいっぱい

おまつり
雪まつり



国営アルプスあづみの公園
大町・松川地区

2月の大町温泉郷では花火と、和太鼓演奏などがコラボレーションする「夢花火と音の祭典」が毎週土曜日に開催されます。このイベントも含め、「おおまち雪まつり」として温泉郷以外でも、国営アルプスあづみの公園のイルミネーションや鹿島槍スキー場のイベント、あめ市など、冬の大大町を楽しむイベントが続きます。



山をこえ、海をこえ友情を育む

友好・姉妹都市交流

大町市では昭和47年に富山県氷見市、平成3年に東京都立川市と姉妹都市の提携を結びました。文化やスポーツ、教育などの交流事業を展開し、お互いの地域や文化などを知り、ふれあいの輪を広げています。さらに、旧美麻村の姉妹都市アメリカ合衆国カルフォルニア州メンドシーノと、平成18年に引き続き交流の提携をしています。昭和60年にはオーストリア共和国のインスブルック市と国際友好都市提携を結び、国際的視野をもった市民を育てるとともに、国際理解を深めるための交流活動を進めています。また、大町市観光協会と千葉県鴨川市観光協会が姉妹提携を結んでいます。



 **メンドシーノ** (アメリカ合衆国)

メンドシーノは、サンフランシスコからおおよそ250km北上した海岸沿いにあります。今でもアーリーアメリカン・スタイルの町並みが保存された人口約1,500人の小さな町です。旧美麻村とは版画家の吉田遠志氏を通じて、昭和55年に国際姉妹村を締結し、相互訪問などの交流を進めてきました。合併後も、引き続き姉妹都市として交流していくことになりました。



 **インスブルック** (オーストリア共和国)

インスブルックは、オーストリアのチロル州の州都で、人口は約13万人の古都です。昔からヨーロッパを縦に結ぶ道の中心として栄えてきた歴史があり、昭和39年と昭和51年の2回、冬季オリンピックが開催されたことでも知られています。同市のアルペン動物園のアルプスマーモットと大町山岳博物館のカモシカとの交換がきっかけで友好都市となりました。



氷見市 (富山県)

氷見市は、能登半島に位置し、富山湾を望む人口約6万人の市です。古くから漁業の町として栄え、近年は富山県の半分を占める漁獲高を背景に“海・魚・温泉、”をキーワードとする観光の振興に力をそそいでいます。長野県と富山県を結ぶ立山黒部アルペンルートが昭和46年に全線開通したのをきっかけに、海のまち氷見市と山のまち大町市は姉妹都市となりました。



立川市 (東京都)

立川市は、東京都の多摩地域に位置し人口は約17万9,000人。国営昭和記念公園があり、武蔵野の面影が残る都市です。多摩地区の商業・文化・交通の中心として発展を続けています。大町市とは、地方行政・文化・スポーツなどの面でより一層広範な交流と協力を行おうと、平成3年に姉妹都市提携を結びました。

Friendship/sister city exchange

Omachi City entered into sister city agreements with Himi City, Toyama, in 1972 and Tachikawa City, Tokyo, in 1991. Through various projects for cultural, sport and educational exchange, Omachi City has been working with the two cities to learn each other's locality and culture and expand opportunities for their citizens to meet. The city is also in a sister city relationship with Mendocino, California, U.S.A., in accordance with an agreement signed between Mendocino and the former village of Miasa before its incorporation into the city in 2006. Furthermore, under an international friendship city agreement signed with Innsbruck, Austria, in 1985, Omachi City has been promoting exchange activities to nurture citizens with a global perspective and deepen international understanding. Meanwhile, the Omachi City Tourism Association has a sister association agreement with the tourism association of Kamogawa City, Chiba.



平成 28 年に大町市・島田市・氷見市がスポーツ少年団交流会を行いました



平成 27 年春、友好都市のインスブルック市から訪問団が大町市を訪れ、友好提携 30 周年を記念し再締結式を行いました



旧美麻村とアメリカのカリフォルニア州メンドシーノとの相互訪問による交流は大町市になっても継続され、交換留学も積極的に行っています



議会

～市政の発展につくす～

市議会は、選挙によって市民から選ばれた16人の議員によって構成される議事機関です。条例の制定や予算の決定など市民生活に関わる重要な事項について議決を行うほか、執行機関の監視・評価、政策等の立案・提言などに積極的に取り組む責務があります。今後とも、市民の負託に的確に応え、市民福祉の向上とより良い市政の発展を目指します。



大町市議会基本条例に基づく、市民との意見交換会の開催などを通じて、市民に信頼され、市民とともに歩む議会を目指します

Omachi city council

The Omachi city council is a deliberative organ formed by 16 council members elected from the citizens. The city council has the responsibility of deciding on important issues involving the civic life, such as the enactment of municipal bylaws and the adoption of budget bills, and working actively on the monitoring and evaluation of executive organs and the planning and proposal of policies. The city council aims to continue to fulfill its obligations with the citizens for the improvement of their welfare and the further development of city administration. ongoing support to a development handicapped child, and a child's right protection and prevention of abuse, activity on a citizen-basis is performed in Omachi. support of a single-parent family, ongoing support to a development activity on a citizen-basis is performed in

大町市制

60年のあゆみ

1954
昭和 29年

5月24日 大町、平村、常盤村および社村の合併の調印が成立
7月 1日 市制施行
25日 市長選挙 初代市長 松田正人氏が当選
8月 1日 大町市消防団 結団式



昭和29年 大町・平村・常盤村・社村合併

1955
昭和 30年

3月20日 市制施行後初の市議会議員選挙
10月15日 市立小中学校の完全給食を実施
11月 1日 市財政の円滑な運用をはかるため愛市公債を発行

1956
昭和 31年

5月20日 大町警察署庁舎落成
9月14日 観音橋の架け替え工事完成

1957
昭和 32年

8月15日 大糸線全通
11月 1日 大町山岳博物館移築開館
23日 大町高等学校校舎落成



昭和32年 大糸線全通



昭和34年 市民会館落成

1958
昭和 33年

3月25日 関電大町トンネル貫通

1959
昭和 34年

4月 1日 第一中学校・第二中学校・第三中学校となる
7月 1日 市民会館落成
9月26・27日 伊勢湾台風により耕地、堤防などに大被害（被害額3億円）



昭和36年 皇太子殿下来市

1960
昭和 35年

2月 1日 市内各町区に自治会結成・発足
3月14日 市財政の再建をはかるため地財再建申出を市議会で議決
11月25日 自治会連合会結成

1961
昭和 36年

3月27日 皇太子殿下来市
(昭和電工大町工場、大町山岳博物館などをご視察)
4月 1日 平、常盤、社の3支所を廃止し、それぞれに出張所を設置
10月13日 大町郵便局局舎落成

1962
昭和 37年

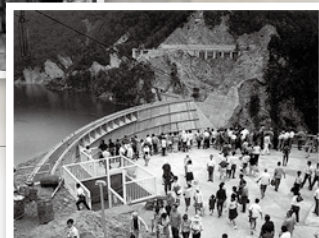
5月 1日 大町市温泉開発株式会社が設立
7月15日 市長選挙 縣 聰氏が当選
10月 1日 常盤地区に第三保育園を開設
11月10日 し尿処理施設「衛生センター」が完成
12月 1日 国鉄、糸魚川～新宿間に急行列車の運行開始
9日 大久保原で政財界、経済学者のグループによるエコノミスト村の起工式（村長・稲葉秀三氏）



昭和37年
エコノミスト村起工式

1963
昭和 38年

6月 5日 黒部ダムが完成
12月 1日 鹿島槍国際スキー場が開設



昭和39年 黒部ダム一般開放

1964
昭和 39年

3月 3日 大町市を含む松本諏訪地区が新産都市に指定される
6月25日 市制施行10周年記念NHK公開放送「のど自慢大会」を開催
8月 1日 黒部ダムが観光地として一般に開放
28日 皇太子殿下ご夫妻が黒部ダムをご視察
11月14日 葛温泉から犬の窟、上原、日向山地区への大町引湯事業しゅん工



昭和40年 消防庁舎完成

1965
昭和 40年

4月 1日 第四保育園開設
8月 3日 消防庁舎完成
10月 9日 大町有料道路供用開始

1966 昭和41年
 3月1日 大町市、北安地方の13農協が合併し大北農協が発足
 4月26日 呉羽紡績と東洋紡績が合併し、呉羽紡績大町工場が東洋紡績大町工場として発足

1967 昭和42年
 2月25日 社保育園しゅん工
 3月31日 仁科台中学校しゅん工
 7月21日 農免道路全線開通

1968 昭和43年
 9月14日 老人福祉センター完成
 23日 第1回戦没者慰霊祭

1969 昭和44年
 4月1日 第五保育園落成
 5月23日 県山岳総合センターしゅん工
 6月5日 大町市、平岡森林組合合併
 8月1日 五日町踏切（国道147号）立体交差開通
 11日 集中豪雨災害（8.11災害）で災害救助法適用（被害額22億6,300万円）
 9月16日 公害問題で気象調査開始



昭和44年 8.11災害

1970 昭和45年
 3月28日 大町市霊園しゅん工
 10月12日 市立図書館しゅん工開館

1971 昭和46年
 6月1日 立山・黒部アルペンルート全線開通
 8月10日 大北地域広域市町村圏事務組合発足
 9月12日 大町病院新病棟しゅん工



昭和46年 大町病院新病棟しゅん工

1972 昭和47年
 4月1日 児童館開館
 11月20日 富山県氷見市と姉妹都市の調印

1973 昭和48年
 3月25日 山岳博物館のニホンカモシカ「太郎」と「辰子」が中国へ贈られる
 29日 第六保育園しゅん工
 31日 都市計画公園（西公園）しゅん工

1974 昭和49年
 3月31日 大北福祉会館しゅん工
 7月8日 国道147号付け替え道路改良工事しゅん工（通称大町バイパス）
 11月3日 市制施行20周年記念式典、名誉市民に、鳥羽 資、松田正人、一志茂樹の3氏を顕彰



昭和49年 大町バイパス開通

1975 昭和50年
 5月8日 勤労青少年ホーム開館
 26日 降ヒョウによる被害（被害額1億6,000万円）

1976 昭和51年
 4月1日 第一保育園移転新築完成
 6月30日 養護老人ホーム「鹿島荘」新築移転（収容定員54名）

1977 昭和52年
 3月22日 平小学校閉校
 4月4日 大町北小学校開校
 7月2日 市民憲章を制定
 21日 市新庁舎が完成
 11月2日 高瀬川右岸県営かんがい事業しゅん工



昭和52年 大町新市庁舎完成

1978 昭和53年
 4月1日 部落解放都市宣言
 6月29日 市長選挙 高橋恭男氏無投票 初当選
 7月9日 大町市運動公園陸上競技場（第3種公認）完成
 10月15日 第33回国民体育大会やまびこ国体開催（15日～20日）



昭和53年 やまびこ国体開催

1979 昭和54年
 7月8日 市制施行25周年記念式典
 8月3・4日 第1回大町やまびこまつり
 10日 高瀬川上橋しゅん工式

1979
昭和 54 年

9月26日 大町総合病院診療棟増築工事しゅん工
(人工透析、皮膚科、泌尿器科、脳神経外科診療開始)

1980
昭和 55 年

3月26日 第三保育園完成
6月29日 長野地方裁判所・家庭裁判所大町支部・大町簡易裁判所
長野地方検察庁大町支部・大町地区検察庁の庁舎しゅん工
8月11日 「酒の博物館」が大町温泉郷にオープン
8月26日 暴走族追放都市宣言
12月28日 大町市豪雪対策本部を設置

1981
昭和 56 年

3月31日 社小学校閉校
4月4日 大町東小学校開校
22~5月5日 バンダ「ランラン」のはく製が山岳博物館で公開
(貸し出し第1号)
5月8日 東京電力・新高瀬川発電所完成(最大出力128万KW)



昭和57年 山岳博物館新設開館

1982
昭和 57 年

4月28日 大町エネルギー博物館開館
5月1日 塩の道博物館開館
6月5日 大町山岳博物館新設開館
15日 核兵器廃絶・軍備縮小を推進する都市宣言
17日 昭和電工大町工場でアルミ精錬を停止
8月31日 大町霊園に墓地112区画完成
9月4日 心身障害者救護施設「れんげ荘」しゅん工(収容定員80人)

1983
昭和 58 年

4月1日 市役所出張所(平、常盤、社)を廃止。
平、常盤、社に公民館が設置される
近藤紡績大町工場の操業開始
6月25日 (仮称)大町西小学校校舎改築工事完成
7月15日 駅前駐車場整備工事完成
8月2日 築場バイパスの開通
12月10日 泉工場用地造成工事しゅん工



昭和59年 大町健康シティマラソン

1984
昭和 59 年

2月28日 大町市豪雪対策本部設置
4月1日 平公民館・働く婦人の家(複合施設)オープン
1日 大町西小学校落成開校
7月1日 市制30周年記念式典、大町市史(第1・5巻)刊行
10月10日 第1回大町健康シティマラソン開催
26日 カモシカ2頭がオーストリア・インスブルック市のアルペン動物園を
通して、ウィーン市のシューンブルン宮殿動物園へ贈られる
11月30日 国宝仁科神明宮の防災設備が完成
12月25日 市制30周年記念事業、タイムカプセルを市役所の前庭へ埋設
(開扉時期西暦2054年)



昭和60年
インスブルック市と友好提携

1985
昭和 60 年

2月18日 大町市とオーストリア・インスブルック市、山岳博物館と
アルペン動物園が友好提携の調印
4月1日 大北広域常備消防発足
1日 民俗資料館がオープン
5月20日 大町ワインが市場に出る(550本の限定販売、市場2,000円)
8月10日 B&G財団大町海洋センターが市へ無償譲渡される
10月16日 建設省「大町ダム」しゅん工
11月1日 長野県建設労働者研修福祉センター「サン・アルプス大町」開館
7日 林道小熊黒沢線しゅん工(全長16.5Km)
29日 籠川大橋しゅん工



昭和62年 大町南小学校開校式

1986
昭和 61 年

3月24日 大町市ほか12市町村「松本・日本アルプス国際観光モデル地区」に
指定される
31日 高瀬川右岸堤防道路が完成
4月20日 大町市運動公園野球場がオープン
5月28日 文化会館(大町公民館併設)がオープン
12月16日 大町市観光協会と千葉県鴨川市観光協会が姉妹提携の調印

1987
昭和 62 年

4月 1日 大町南小学校開校
1日 市障害者等共同作業所「ひまわりの家」オープン
7月15日 大町温泉郷にアルプス温泉博物館がオープン
8月17日 大黒町の舞台(山車)が県宝に指定される



平成元年 雪と氷の博覧会開催

1988
昭和 63 年

4月25日 (社)大町市シルバー人材センター(会員115人)が発足
30日 森林劇場完工式
5月26日 高瀬川堤防道路しゅん工
11月 6日 大町市運動公園総合体育館しゅん工

1989
平成 元 年

1月28~30日 雪と氷の博覧会開催
3月 1日 大町・平農協が大北農協と合併
4月 1日 特別養護老人ホーム「カトレヤ」オープン
5月13日 夏期大学再建しゅん工
7月 1日 市の木にオオヤマザクラ、花にカタクリ、
獣にカモシカ、鳥にライチョウを制定
8月 1日 有線テレビ・ACVが放送開始
10月 1日 共同福祉施設「フレンドプラザ大町」オープン



平成3年 立川市と姉妹都市提携

1990
平成 2 年

6月11日 国営アルプスあづみの公園事業化決定
7月 1日 市長選挙 腰原愛正氏初当選
10月 9日 大町有料道路が一般道になり、無料開放される

1991
平成 3 年

1月 1日 駅前広場公園・文化公園完成
3月25日 立川市と姉妹都市の提携
27日 保健センター・大町公民館分室完成
6月15日 IOC総会により1998年冬季オリンピック開催都市が長野に決定

1992
平成 4 年

5月 1日 高瀬渓谷タクシー乗り入れ開始
7月14日 常盤公民館再建しゅん工
10月14日 公共下水道工事に着手 管きょ工事始まる

1993
平成 5 年

4月 1日 老人訪問看護ステーション開所
5月15日 市役所が土曜完全閉庁になる
7月30日 信州博覧会「大町・北安曇の日」開催される



平成6年
大町病院新棟完成

1994
平成 6 年

4月22日 木崎湖南にバイパスが完成
5月11日 アルプス囲碁村オープン
8月11日 宮本橋が完成(しゅん工式)
11月30日 大町病院新館が完成(しゅん工式)



平成7年 梅雨前線豪雨災害

1995
平成 7 年

5月31日 長野県総合防災訓練(運動公園を中心に)
6月 3日 劇団四季『演劇資料館』が開館
7月11日 梅雨前線豪雨災害
9月22日 アルプス搗精(とうせい)工場が完成(しゅん工式)

1996
平成 8 年

2月28日 大北広域市町村圏事務組合が『北アルプス広域行政組合』に改名
4月15日 「ゆ〜ぶる木崎湖」しゅん工、20日オープン
5月21~24日 第18回世界アマチュア囲碁選手権戦が開催される
12月 3日 堤防道路・蓮華大橋が完成し、冬季オリンピック関連
道路開通
19日 木崎湖バイパスが開通



平成8年 オリンピック関連道路開通

1997
平成 9 年

2月 3日 昭和電工大町工場の発電水利権が更新許可
3月18日 市庁舎分室が完成
27日 一般廃棄物最終処理場「グリーンパーク」と、し尿処理
施設「クリーンプラント」の完成式
31日 大町市公共下水道の一部と社南部農業集落排水施設の全部が
使用開始となる
4月 9日 「いーずら大町特産館」オープン

1997
平成 9 年

21日 老人保健施設「虹の家」開所式
12月 3日 青木湖バイパスが開通
24日 三日町バイパスが開通



平成10年 長野オリンピック開催

1998
平成 10 年

2月7～22日 長野オリンピック冬季大会開催
3月5～14日 長野パラリンピック冬季大会開催
10月22日 国営アルプスあづみの公園起工式
10月27～28日 第36回女流アマ囲碁都市対抗戦

1999
平成 11 年

7月21日 青島地区にニチコン（株）大町工場が完成
9月 大崎遺跡で縄文時代のクッキーが出土（日本最古）
10月 1日 新・市立図書館オープン
12月 3日 第七保育園がやしる公園東へ移転新築完成
25日 東洋紡績（株）大町工場閉鎖

2000
平成 12 年

2月 1日 北アルプス広域連合発足。連合長は大町市長
4月 8日 資源物の分別収集開始
5月 8日 基準を超えるダイオキシン類排出のため環境プラント
焼却炉運転停止
27日 「黒部の太陽」フェスタ・オープニングイベント炊き出しとコンサート
8月10日 流鏝馬会館開館
10月 2日 特定環境保全公共下水道終末処理場「松川浄水苑」通水式
22日 文化会館前に早春賦歌碑建立
11月11日 文化講演など4会場でおたんじょ桜340本植樹。25年継続計画



平成12年 黒部の太陽フェスタ

2001
平成 13 年

3月23日 大町市第3次総合計画基本構想議決
27日 ふれあいプラザ（4月2日開所）、
大町総合情報センター（4月1日開所）完成
4月22日 平運動場、野球場完成
7月25日 信濃大町駅前のロータリーが道路改良で対面通行へ
9月28～10月1日 第15回全日本シニアソフトボール大会開催
10月 2日 大町公園に北アルプス展望園地完成
21日 第1回アルプス囲碁村まつり
「県知事・大町市長杯争奪囲碁大会」開催
11月 5日 ホクト産業（株）が大町市に進出を発表



平成13年 総合情報センターオープン

2002
平成 14 年

1月10日 環境プラント排ガス高度処理施設整備工事しゅん工
2月14日 北アルプス広域葬祭場使用開始
3月15日 山岳文化都市宣言
5月11日 第1回「笑顔と元気でまちづくり事業」公開審査会開催
6月26日 市役所がISO14001 認証取得
8月 5日 住民基本台帳ネットワークシステムがスタート
10月 1日 総合福祉センターがオープン

2003
平成 15 年

1月 5日 日本棋院から「第2回囲碁普及大賞」を受賞
10月25-26日 第7回全国ミニテニス交流信州大町大会が開催
12月15日 地元産のそば粉を使用したそば焼酎の完成発表
（発売は1月1日から）

2004
平成 16 年

2月 1日 大町市・八坂村・美麻村合併協議会設置
3月21日 しらかば保育園しゅん工式
4月 1日 大町市男女共同参画推進条例施行
4日 蔵の音楽館しゅん工式
5月15日 スケボーパークしゅん工式
22～23日 全国雪形フェスティバル開催
8月27～29日 第10回全日本シニアソフトボール古希大会
10月16日 市制施行50周年記念式典
20日 台風23号による豪雨災害



平成17年 3市村合併協定書調印

2005
平成 17 年

- 2月 7日 中央通り商店街火災
- 8日 大町市・八坂村・美麻村合併協定書調印式
- 21～3月5日 スペシャルオリックス冬季世界大会長野
- 5月24日 上原の湯しゅん工式
- 30日 第三配水池しゅん工式
- 10月 5日 新観音橋開通式
- 11月21日 市営住宅大原団地建設事業完成
- 25日 第一中学校新校舎開き
- 27日 八坂村閉村式
- 12月11日 美麻村閉村式



平成18年 合併記念式典

2006
平成 18 年

- 1月 1日 大町市・八坂村・美麻村合併 新大町市誕生
- 2月11日 合併記念式典挙行
- 3月27日 新児童センター完成
- 31日 信濃大町駅前公衆トイレ完成
- 4月 1日 大町市社会福祉協議会が合併
- 3日 北アルプス平日夜間小児科内科急病センター開所
- 5月22日 メンドシーノと姉妹都市の継続を調印
- 7月 3日 市長選挙 牛越徹氏 無投票初当選
- 7月14日 牛越新市長 初登庁
- 8月29日 新廃棄物焼却施設建設事業 3市村で基本協定
- 10月 4日 八坂地区に情報基盤整備事業がしゅん工
- 11月 1日 大町商工会館、中心市街地多目的ホール・公衆トイレが完成
- 12月22日 第一中学校全面改築事業しゅん工



平成18年
信濃大町駅前公衆
トイレ完成



平成19年 信州大学連携協定

2007
平成 19 年

- 4月 1日 大町商工会議所に八坂商工会が統合
- 15日 アルプス囲碁村会館の開館式
- 12月10日 信州大学と大町市が「連携に関する協定」を締結
- 26日 美麻支所・美麻公民館しゅん工式

2008
平成 20 年

- 3月26日 北アルプス広域産業活性化協議会設立
- 5月16日 はなのき保育園しゅん工
- 7月22日 街路若宮駅前線（東若宮町・西若宮町工区）完成式



平成21年
国営アルプスあづみの公園
大町・松川地区開園

2009
平成 21 年

- 7月18日 国営アルプスあづみの公園大町・松川地区開園
- 10月11日 運動公園サッカー場芝生全面改修工事完了
- 12月18日 仁科台中学校新校舎開き

2010
平成 22 年

- 2月 9日 鳥獣被害対策優良活動で農林水産大臣賞を受賞
- 12日 立山黒部アルペンルート広域観光圏協議会設立
- 3月25日 一般廃棄物最終処分場（グリーンパーク）第2期工事しゅん工式
- 4月16日 町川発電所完成式
- 7月14日 牛越徹市長 2期目初登庁
- 22日 JR信濃大町駅舎リニューアル記念セレモニー
- 8月12日 会計管理者を設置
- 12月14日 仁科台中学校全面改築事業完成式



平成22年 町川発電所完成式

2011
平成 23 年

- 3月11日 東日本大震災被災地へ市立大町総合病院DMAT派遣
- 30日 くるみ保育園しゅん工
- 4月 1日 市営ケーブルテレビ開局（全市域にエリア拡大）
- 5月29日 第1回病院祭開催
- 6月 1日 立山黒部アルペンルート全線開通40周年
- 2日 FM長野ラジオ番組「まるごとおおまち」放送開始
- 7月 3日 大町市・立川市姉妹都市提携20周年記念事業
- 11月3日 山岳博物館60周年記念式典



平成23年 第1回病院祭開催

4月 11日 大町市定住促進本部を設置
20日 山岳図書資料館開館



平成24年
全国高校総体女子サッカー大会開催



平成24年 山岳図書資料館開館

8月 1日 全国高校総体女子サッカー大会開催 大町北高が出場
4日 しなのおおまちキャラクター
「おおまびよん」デビュー
11月 23日 交流促進センター明日香荘が営業を再開



平成24年
おおまびよんデビュー



3月 27日 養護老人ホーム
鹿島荘全面改築工事しゅん工
4月 28日 大町市ふれあいセンターさぎなみ
「川の駅さぎなみ」全面再開
5月 25日 黒部ダム完成50周年
「くろよんまつり」開催に3万人来場
8月 29日 運動公園内に多目的芝生広場が完成
9月 28日 国営アルプスあづみの公園大町・松川地区
溪流レクリエーションゾーンがオープン



平成25年 川の駅さぎなみ全面再開



平成25年 くろよんまつり開催



平成25年 多目的芝生広場完成

- 2月28日 北アルプス広域消防本部が通信指令室を新設
- 3月29日 山岳博物館 内容を一新しリニューアルオープン
- 4月 1日 美麻小中学校が小中一貫教育校、
コミュニティ・スクールとしてスタート
- 27日 鷹狩山展望施設が再スタート
- 6月19日 西公園親水施設オープン
- 7月14日 牛越市長 3期目初登庁

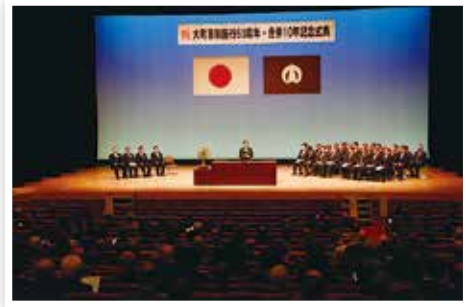


平成26年
西公園親水施設オープン



平成26年
山岳博物館リニューアルオープン

- 10月11日 大町市制施行60周年・合併10年記念式典
- 11月 2日 鷹狩山展望公園で「恋人の聖地」
モニュメント除幕式
- 22日 長野県神城断層地震発生 大町市で震度5弱
- 29日 阿部知事が美麻地区被災地を視察



平成26年 大町市制施行60周年・合併10年記念式典



平成26年 阿部知事 美麻地区被災地を視察



平成27年 インスブルック市友好提携
30周年記念再締結式

- 4月 8日 インスブルック市と友好提携30周年を記念し再締結
- 20日 「恋人の聖地」大町市が全国で観光交流大賞受賞
- 5月26日 松本山雅へ出資調印5番目のホームタウンに
- 6月 6日 信濃大町まつり開催に中心市街地にぎわう
- 7月 4日 山岳博物館ライチョウ舎竣工
スパールバルライチョウ飼育一般公開
- 8月14日 山岳博物館 スパールバルライチョウの卵ふ化成功
ひなを公開



平成27年
松本山雅へ出資調印5番目のホームタウンに



平成27年 「恋人の聖地」観光交流大賞受賞

- 10月 1日 芸術文化振興を進める
「信濃大町アーティスト・イン・レジデンス事業推進協議会」設立
- 10月 2日 嶺村 鴻汰さん (モンテローザ) が第70回国民体育大会
陸上競技成人男子走り幅跳びで優勝
- 11月15日 宇海水稀さん (日本航空高校) が第9回世界ジュニア&
カデット・アンダー21空手道選手権大会ジュニア女子・形で優勝
- 11月23日 おおまびよん 全国100位、県内2位達成!ゆるきゃらグランプリ
- 12月13日 奥原希望さん (日本ユニシス) バドミントン国際大会の
スーパーシリーズファイナルズ女子シングルスで優勝



平成27年
スパールバルライチョウひなを公開

主な公共施設

医療福祉施設・衛生施設

情報通信施設

観光交流施設

公民館

社会教育施設

体育施設

都市公園・小公園

勤労者福祉施設

自然エネルギーを
活用している公共施設

市立大町総合病院



大町市大町 3130 ☎22-0415

八坂診療所



大町市八坂 987-1 ☎26-2814

美麻診療所



大町市美麻 11810-イ ☎29-2015

総合福祉センター



大町市大町 1129 ☎22-1501

八坂総合福祉センター



大町市八坂 1128 ☎26-2100

美麻総合福祉センター



大町市美麻 11810-イ ☎29-1080

中央保健センター



大町市大町 1058-13 ☎23-4400

環境プラント



大町市社 3834-2 ☎22-0168

クリーンプラント



大町市社 8390 ☎23-6161

グリーンパーク



大町市大町 7862-2 ☎23-2714

総合情報センター



大町市大町 3872-7 ☎21-3800



アミューズメントハウス ゆ〜ぷる木崎湖(プール棟)



大町市平 10639-7 ☎23-6101

コミュニティセンター 上原の湯



大町市平 1955-446 ☎22-2759

ふるさと体験館



大町市八坂 1135 ☎26-2625

交流促進センター「明日香荘」



大町市八坂 1160 ☎26-2301

ふれあいセンター「さざなみ」



大町市八坂 15719 ☎26-2101

エコハウス「たかがり」



大町市八坂 8583-2 ☎26-2556

八坂情報コミュニティセンター「アキツ」



大町市八坂 1133-1 ☎26-2380

麻の館



大町市美麻 14004 ☎23-1738

ぽかぽかランド美麻



大町市美麻 16784 ☎29-2030

大町公民館・文化会館



大町市大町 1601-2 ☎22-9988

大町公民館分室 (中央保健センター併設)



大町市大町 1058-13 ☎22-0352

平公民館・女性未来館ピュア



大町市平 10352-1 ☎22-0694

常盤公民館



大町市常盤 3601-18 ☎22-0321

社公民館・民俗資料館



大町市社 3945-2 ☎22-0378

八坂公民館 八坂情報コミュニティセンター「アキツ」併設



大町市八坂 1133-1 ☎26-2380

美麻公民館



大町市美麻 11810-イ ☎29-2311

文化財センター



大町市大町 4700 ☎23-4760

大町図書館



大町市大町 4710-6 ☎21-1616

蔵の音楽館



大町市大町 2542-1 ☎22-0352 (大町公民館分室)

市立大町山岳博物館



大町市大町 8056-1 ☎22-0211



運動公園



大町市常盤 5638-44 ☎22-8855 (総合体育館)

- 総合体育館
 - 陸上競技場
 - サッカー場
 - 野球場
 - テニスコート
 - 多目的広場
 - 弓道場
 - マレットゴルフ場
 - 屋内運動場
 - 多目的芝生広場
 - 体育研修センター
- その他の施設**
平
- 野球場
 - 運動場
 - ゲートボール場
 - B&G 海洋センター体育館
 - B&G 海洋センター艇庫
- 大町**
- 西公園運動場
 - 西公園体育館
- 社**
- やしろ公園運動広場
 - B&G 海洋センター多目的広場
- 常盤**
- 運動場

八坂運動場



その他の施設

- テニスコート
- トレーニングセンター
- 山村広場
- ゲートボール場
- マレットゴルフ場

大町市八坂 8408 ☎26-2380 (八坂教育担当)

美麻運動場



その他の施設

- 丸山公園運動場
- テニスコート
- ゲートボール場
- トレーニングセンター

大町市美麻 14239 ☎29-2311 (美麻教育担当)

都市公園



- 西公園
- 大町運動公園
- 大町公園
- 高瀬溪谷緑地公園
- 大町文化公園
- 大町駅前広場公園
- やしろ公園

大町市大町 4710 ☎22-0420 (建設課)

小公園



- 木崎湖園地
- 五日町ポケットパーク
- 八日町第1・第2ポケットパーク
- 下仲町ポケットパーク
- 大黒町ポケットパーク
- 仁科町ポケットパーク
- 白塩町ポケットパーク
- 九日町第1・第2ポケットパーク
- 旧農具川親水自然公園
- 山下ポケットパーク
- 青島公園
- 静の桜公園
- 青具公園
- 二重沢公園

大町市平 10694-2

勤労者福祉施設



- その他の施設**
- 労働会館

大町市大町 1601-2 ☎22-9988

町川発電所 (小水力発電)



発電した電力は、クリーンプラント(し尿処理場)へ送り、使用しています。

太陽光発電

- 大町市役所
- 大町図書館
- 大町東小学校
- 仁科台中学校
- 常盤公民館

大町市社 3595-11

資料編

統計資料に見る大町市

■ 気象・地勢

▶ 気象概況

	気 温 (°C)			降水量 (mm)	降・積雪量 (cm)
	平 均	最 高	最 低	総 量	降雪の深さの合計
平成 23 年	9.3	33.2	-14.9	1,582.5	403
平成 24 年	9.2	34.0	-15.8	1,230.5	500
平成 25 年	9.6	33.7	-16.2	1,397.5	470
平成 26 年	9.3	33.9	-15.4	1,531.0	380
平成 27 年	10.1	34.2	-15.5	1,472.0	520

資料：企画財政課（気象庁データより作図）

▶ 土地利用面積

(単位 km)

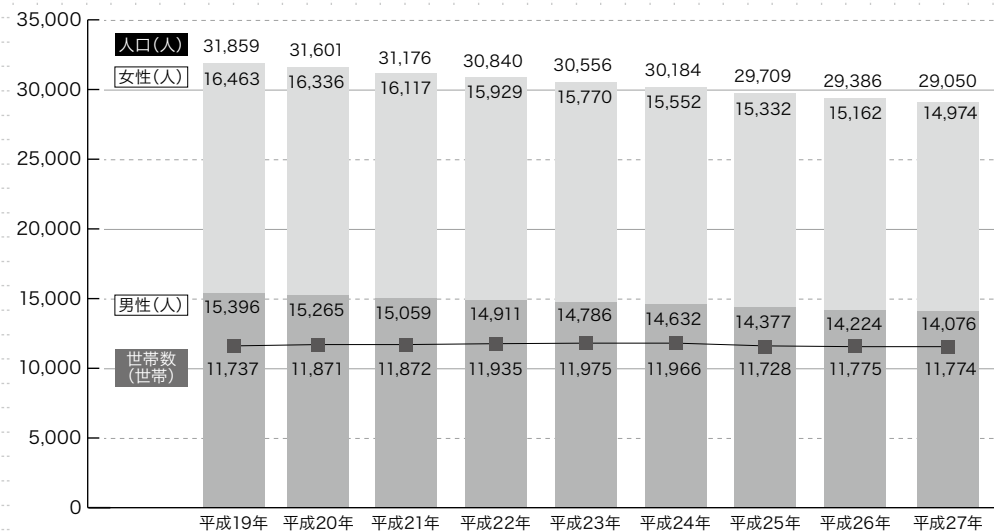
	田	畑	宅地	山林	原野	湖沼	雑種他	その他	計
平成 23 年	23.48	4.72	10.75	123.79	4.60	10.60	4.80	382.25	564.99
平成 24 年	23.45	4.73	10.77	180.06	2.74	10.60	4.85	327.79	564.99
平成 25 年	23.43	4.72	10.78	178.79	2.72	10.60	4.86	329.09	564.99
平成 26 年	23.42	4.72	10.79	178.25	2.72	10.60	4.86	329.63	564.99
平成 27 年	23.38	4.72	10.77	167.91	2.71	10.60	4.95	340.11	565.15

資料：税務課

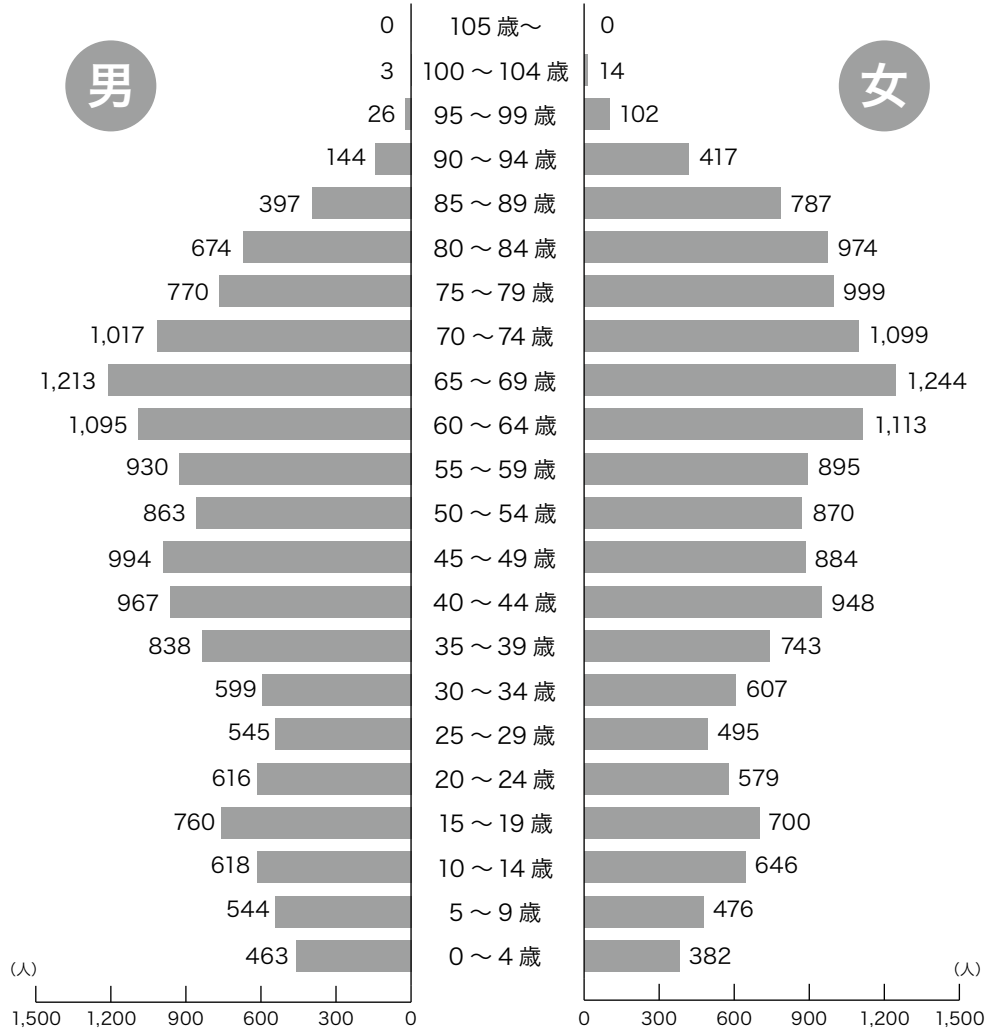
■ 人 口

▶ 人口と世帯

住民基本台帳人口 各年 4月 1 日現在



▶人口ピラミッド



平成27年度3月31日現在 市民課調べ

▶高齢者数の推移

各年度4月1日現在

年度(人)	年齢区分内訳								小計(人)	高齢化率(%)
	男	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～		
平成23年度 9,111(人)	男	996	887	842	606	344	107	18	3,800	30.30
	女	1,094	1,016	1,086	1,013	692	307	103	5,311	
平成24年度 9,221(人)	男	981	918	823	632	371	118	18	3,861	31.04
	女	1,114	1,016	1,083	993	719	335	100	5,360	
平成25年度 9,409(人)	男	1,044	953	770	687	365	129	23	3,971	32.13
	女	1,143	1,029	1,068	982	751	363	102	5,438	
平成26年度 9,672(人)	男	1,098	1,016	769	686	391	143	17	4,120	32.91
	女	1,168	1,070	1,055	977	778	393	111	5,552	
平成27年度 9,880(人)	男	1,213	1,017	770	674	397	144	29	4,244	34.01
	女	1,244	1,099	999	974	787	417	116	5,636	

注)高齢者数は住民基本台帳による

資料：福祉課

■産 業

▶産業分類別就業者数

産業分類	平成 12 年		
	総数	男	女
総数	18,170	10,493	7,677
第一次産業	1,686	869	817
農業	1,615	808	807
林業	70	60	10
漁業	1	1	-
第二次産業	6,615	4,669	1,946
鉱業	41	37	4
建設業	2,768	2,342	426
製造業	3,806	2,290	1,516
第三次産業	9,861	4,952	4,909
電気・ガス 熱供給・水道業	228	206	22
運輸・通信業	788	625	163
卸売・小売業, 飲食店	2,862	1,239	1,623
金融・保険業	256	113	143
不動産業	58	45	13
サービス業	5,001	2,247	2,754
公務 (他に分類され ないもの)	668	477	191
分類不能の 産	8	3	5

注)平成17年以前は、旧八坂村、美麻村の数値を含めて補正しています

産業分類	平成 17 年		
	総数	男	女
総数	16,655	9,454	7,201
第一次産業	1,797	969	828
農業	1,743	918	825
林業	49	46	3
漁業	5	5	-
第二次産業	5,112	3,757	1,355
鉱業	16	15	1
建設業	2,075	1,785	290
製造業	3,021	1,957	1,064
第三次産業	9,647	4,675	4,972
電気・ガス 熱供給・水道業	184	169	15
情報通信業	137	101	36
運輸業	646	534	112
卸売・小売業	2,347	1,029	1,318
金融・保険業	215	88	127
不動産業	54	32	22
飲食店, 宿泊業	1,353	512	841
医療,福祉	1,360	271	1,089
教育, 学習支援業	558	274	284
複合サービス 業	313	188	125
サービス業 (他に分類され ないもの)	1,903	1,055	848
公務 (他に分類され ないもの)	577	422	155
分類不能の 産	99	53	46

注)平成17年調査から産業分類が変更

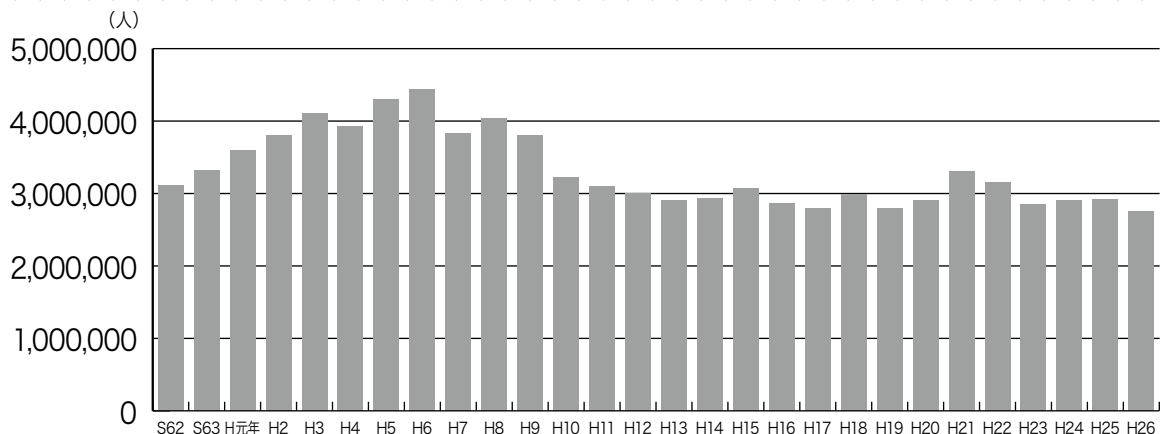
産業分類	平成 22 年		
	総数	男	女
総数	14,812	8,388	6,424
第一次産業	1,363	790	573
農業	1,262	701	561
林業	92	82	10
漁業	9	7	2
第二次産業	4,385	3,270	1,115
鉱業,採石業, 砂利採取業	12	10	2
建設業	1,592	1,374	218
製造業	2,781	1,886	895
第三次産業	8,859	4,199	4,660
電気・ガス 熱供給・水道業	157	136	21
情報通信業	105	67	38
運輸業, 郵便業	701	588	113
卸売業, 小売業	1,902	859	1,043
金融業, 保険業	205	75	130
不動産業, 物品賃貸業	129	88	41
学術研究, 専門・技術 サービス業	278	191	87
宿泊業,飲食 サービス業	1,257	482	775
生活関連 サービス 業,娯楽業	577	202	375
教育, 学習支援業	503	241	262
医療,福祉	1,587	327	1,260
複合 サービス事 業	213	106	107
サービス業 (他に分類され ないもの)	701	438	263
公務 (他に分類され ないもの)	544	399	145
分類不能の 産	205	129	76

注)平成22年調査から産業分類が変更。

資料:国勢調査

■観 光

▶観光客の入込数の推移



資料:観光課

■福 祉

▶生活保護状況

各年4月1日現在

	実数		生活扶助		住宅扶助		教育扶助		介護扶助		医療扶助		その他扶助		保護率 (%)
	世帯	人員	世帯	人員	世帯	人員	世帯	人員	世帯	人員	世帯	人員	世帯	人員	
平成23年	145	184	121	160	96	131	7	10	23	23	122	144	2	2	6.2
平成24年	148	191	118	159	96	132	7	11	29	29	121	143	3	3	6.4
平成25年	147	186	115	148	92	122	5	7	26	26	130	152	3	4	6.5
平成26年	151	191	122	158	98	130	4	7	28	28	131	158	4	5	6.7
平成27年	154	184	123	148	103	125	3	7	27	27	132	152	1	1	6.5

資料:福祉課

▶老人福祉の状況

	老人クラブ		要介護老人	
	クラブ数	会員数	ひとり暮らし老人数	老人世帯数
平成23年	38	2,159	877	964
平成24年	37	2,092	1,088	1,221
平成25年	35	1,941	1,368	1,530
平成26年	34	1,917	1,475	1,594
平成27年	32	1,849	1,816	1,682

資料:福祉課

■児 童

▶保育園

各年4月1日現在

	保育園数	園児数	
		うち3歳未満児	
平成23年	8園	560	103
平成24年	8園	522	82
平成25年	8園	519	82
平成26年	8園	506	116
平成27年	8園	472	109

資料:子育て支援課

▶私立幼稚園・認定こども園児数

各年5月1日現在

	園数	園児数	
		うち3歳未満児	
平成23年	3園	150	0
平成24年	3園	145	1
平成25年	3園	135	0
平成26年	3園	136	0
平成27年	3園	154	5

資料:学校基本調査

注)平成23年度に「もみのき保育園」と「こぶし保育園」を統合し「くるみ保育園」を開設

■医療・救急・消防

▶市立大町総合病院の利用状況(延数)

(単位：千人)

年度	総数	内科	小児科	外科	整形外科	脳外科	皮膚科	泌尿器科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	麻酔科	形成外科	診療所
平成16年度	224	92	15	26	27	12	12	15	11	11	1	0	1	1
平成17年度	212	89	13	23	31	11	10	15	11	7	1	0	1	閉所
平成18年度	211	97	13	22	30	2	9	16	13	7	1	0	1	閉所
平成19年度	197	89	12	21	27	2	9	15	14	7	1	0	0	閉所
平成20年度	182	76	10	23	27	2	9	14	12	7	1	0	1	閉所
平成21年度	177	75	8	24	26	2	9	12	12	7	1	0	1	閉所
平成22年度	182	83	9	24	21	1	9	13	14	7	1	0	0	閉所
平成23年度	175	82	8	23	17	1	9	13	14	7	1	0	0	閉所
平成24年度	169	75	7	26	18	1	8	13	13	7	1	0	0	閉所
平成25年度	164	69	6	27	17	1	8	12	15	7	1	0	0	閉所
平成26年度	170	71	7	24	22	5	8	11	14	7	1	0	0	閉所

資料：市立大町総合病院

▶救急出動及び搬送状況

年次	出場件数(件)												搬送人員(人)
	総数	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	総数
平成22年	2,928	6	—	4	214	31	36	551	10	32	1,558	486	2,852
平成23年	2,941	5	2	2	193	24	38	551	9	24	1,648	445	2,833
平成24年	2,966	3	—	1	241	20	35	586	8	19	1,592	461	2,896
平成25年	3,202	7	4	—	196	20	34	624	4	31	1,768	514	3,077
平成26年	3,462	8	15	2	197	25	40	690	8	29	1,963	485	3,359

注)年次は1月～12月。数値は、大町消防署・北部消防署・南部消防署の合算数値となっています。資料：北アルプス広域消防本部・消防年報

▶火災の発生件数等

年次	火災件数(件)					焼失面積		損害額(千円)
	総数	建物	林野	車両	その他	建物(m ²)	林野(a)	
平成22年	11	10	1	—	—	600	16	66,557
平成23年	12	8	1	3	—	1,182	184	34,830
平成24年	7	7	—	—	—	221	—	9,797
平成25年	9	6	1	1	1	716	21	17,041
平成26年	7	5	—	—	2	324	—	17,193

注)年次は1月～12月。数値は、大町消防署の数値となっています

資料：北アルプス広域消防本部・消防年報

■水道・下水道

▶水洗化率

年度	行政人口	下水道事業				農集				浄化槽		水洗化人口 (C+E+G)	大町市 水洗化率 (H/(B+D+F))
		区域内人口	水洗化人口	普及率%	水洗化率%	区域内人口	水洗化人口	普及率%	水洗化率%	区域内人口	水洗化人口		
		A	B	C	(B/A)	(C/B)	D	E	(D/A)	(E/D)	F		
平成22年	30,070	21,716	12,997	72.2	59.8	1,104	951	3.7	86.1	7,194	4,574	18,522	61.7
平成23年	29,710	21,514	13,803	72.4	64.2	1,075	921	3.6	85.7	6,990	4,430	19,154	64.8
平成24年	29,709	21,444	14,068	72.2	65.6	1,038	902	3.5	86.9	7,195	4,746	19,716	66.4
平成25年	29,386	21,308	14,278	72.5	67.0	1,014	910	3.5	89.7	7,044	4,747	19,935	67.9
平成26年	29,050	21,031	14,298	72.4	68.0	1,032	889	3.6	86.1	4,848	4,848	20,035	74.4

資料：上下水道課

▶水道事業普及状況

年度	行政区域内		現在給水区域内		普及率 (%)		有効水量 (千m ³)		有収水量 比率 (%)
	世帯 (戸)	人口 (人)	世帯 (戸)	人口 (人)	世帯 (戸)	人口 (人)	有収水量	無収水量	
平成 22 年	11,975	30,556	10,970	27,952	91.6	91.5	3,028	24	71.1
平成 23 年	11,966	30,184	10,969	27,595	91.7	91.4	2,963	1	72.9
平成 24 年	11,728	29,709	10,756	27,220	91.7	91.6	2,961	19	72.2
平成 25 年	11,775	29,386	10,811	26,937	91.8	91.7	2,915	31	71.0
平成 26 年	11,774	29,050	10,812	26,640	91.8	91.7	2,845	1,063	69.1

資料：上下水道課

▶簡易水道事業普及状況

年度	行政区域内		現在給水区域内		普及率 (%)		有効水量 (千m ³)	無効水量 (千m ³)	有効水量 比率 (%)
	世帯 (戸)	人口 (人)	世帯 (戸)	人口 (人)	世帯 (戸)	人口 (人)			
平成 22 年	784	2,001	758	1,948	96.7	97.4	244	234	51.1
平成 23 年	782	1,968	756	1,908	96.7	97.0	243	182	74.9
平成 24 年	765	1,923	742	1,867	97.0	97.1	212	262	44.8
平成 25 年	757	1,895	735	1,844	97.1	97.3	228	318	41.8
平成 26 年	755	1,866	734	1,818	97.2	97.4	222	210	51.4

資料：上下水道課

■財政状況

▶市の財産

決算年度末(各年3月31日)現在

年度	土地 (行政財産) m ²	土地 (普通財産) m ²	建物 (行政財産) m ²	建物 (普通財産) m ²	有価証券等(円)	基金(円) (財政調整基金)
平成 22 年度	5,664,238	8,321,719	236,917	2,850	373,238,890	4,979,334,175 (1,782,138,870)
平成 23 年度	5,675,448	8,321,011	241,110	3,177	373,238,890	4,496,847,099 (1,782,138,870)
平成 24 年度	5,688,796	8,329,209	235,521	3,685	347,238,890	4,742,714,857 (1,782,138,870)
平成 25 年度	5,708,349	8,335,689	235,891	3,585	342,238,890	5,002,741,589 (1,623,138,870)
平成 26 年度	5,714,434	8,331,745	236,227	3,585	342,238,890	5,290,706,641 (1,369,138,870)

資料：大町市一般会計歳入歳出決算書

▶一般会計決算

(単位:千円)

年 度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
歳入	市 税	4,353,447	4,197,986	4,093,438	4,098,833	4,162,505
	地方交付税	6,599,795	6,526,971	6,651,601	6,763,715	6,637,078
	国庫支出金	2,753,647	1,284,603	1,167,222	1,242,209	1,303,394
	県支出金	1,224,395	774,414	750,868	751,414	864,898
	繰入金	70,126	527,167	173,725	202,710	285,063
	諸収入	915,963	945,234	902,446	979,002	1,000,262
	市 債	1,732,388	960,704	1,428,410	1,183,460	971,042
	そ の 他	1,766,360	1,903,284	1,926,239	1,944,566	1,785,903
	合 計	19,416,121	17,120,363	17,093,949	17,165,909	17,010,145
歳出	議会費	153,532	197,898	172,785	167,274	169,608
	総務費	4,474,954	2,288,236	2,901,107	3,107,830	2,423,913
	民生費	4,145,303	3,994,116	4,115,249	3,886,011	4,136,206
	衛生費	2,039,611	2,411,201	2,150,523	2,062,059	2,056,203
	労働費	126,769	125,738	132,976	127,597	127,692
	農林水産費	480,194	422,479	398,871	449,647	554,645
	商工費	758,382	842,330	849,570	885,503	961,807
	土木費	1,496,530	1,416,564	1,567,870	1,786,288	1,895,125
	消防費	471,861	489,117	482,909	481,861	596,707
	教育費	1,536,676	1,331,277	1,393,202	1,504,246	1,293,023
	災害復旧費	30,407	135,769	19,471	13,107	36,848
	公債費	2,964,961	2,642,559	2,151,955	2,075,108	1,905,508
	合 計	18,679,180	16,297,284	16,336,488	16,546,531	16,157,285

資料:大町市一般会計歳入歳出決算書

▶市の借金残高

(単位:千円)

年 度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
一 般 会 計	17,524,659	16,098,569	15,598,503	14,904,753	14,143,254
水道事業	2,406,136	2,288,855	2,168,078	2,043,729	1,916,082
温泉引湯事業	0	0	0	0	0
病院事業	4,300,416	4,028,749	4,033,860	3,957,635	4,589,875
指定訪問看護事業	0	0	-	-	-
公共下水道	11,931,166	11,522,720	11,165,715	10,834,998	10,407,294
農業集落排水	969,290	917,400	864,043	809,173	752,741
公営簡易水道	883,919	827,827	779,051	727,903	678,642
住宅新築資金等	0	0	0	0	-
合 計	38,015,586	35,684,120	34,609,250	33,278,191	32,487,888

注)各項目で端数処理をしています。

資料:財政事情公表

▶市の財政指標

年 度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
実質公債費比率	18.0	16.2	13.3	10.6	8.4
経常収支比率	87.6	89.2	89.0	88.5	86.9
財政力指数	0.448	0.428	0.419	0.420	0.41

資料:財政事情公表

市の木
オオヤマザクラ



市の花
カタクリ



市の鳥
ライチョウ



市の獣
カモシカ





大町市勢要覧 2016

発行／平成28年3月 長野県大町市
〒398-8601 長野県大町市大町3887
TEL.0261-22-0420 FAX.0261-23-4304
<http://www.city.omachi.nagano.jp/>
編集／大町市総務部情報交通課 広聴広報係
制作／株式会社奥村印刷所
